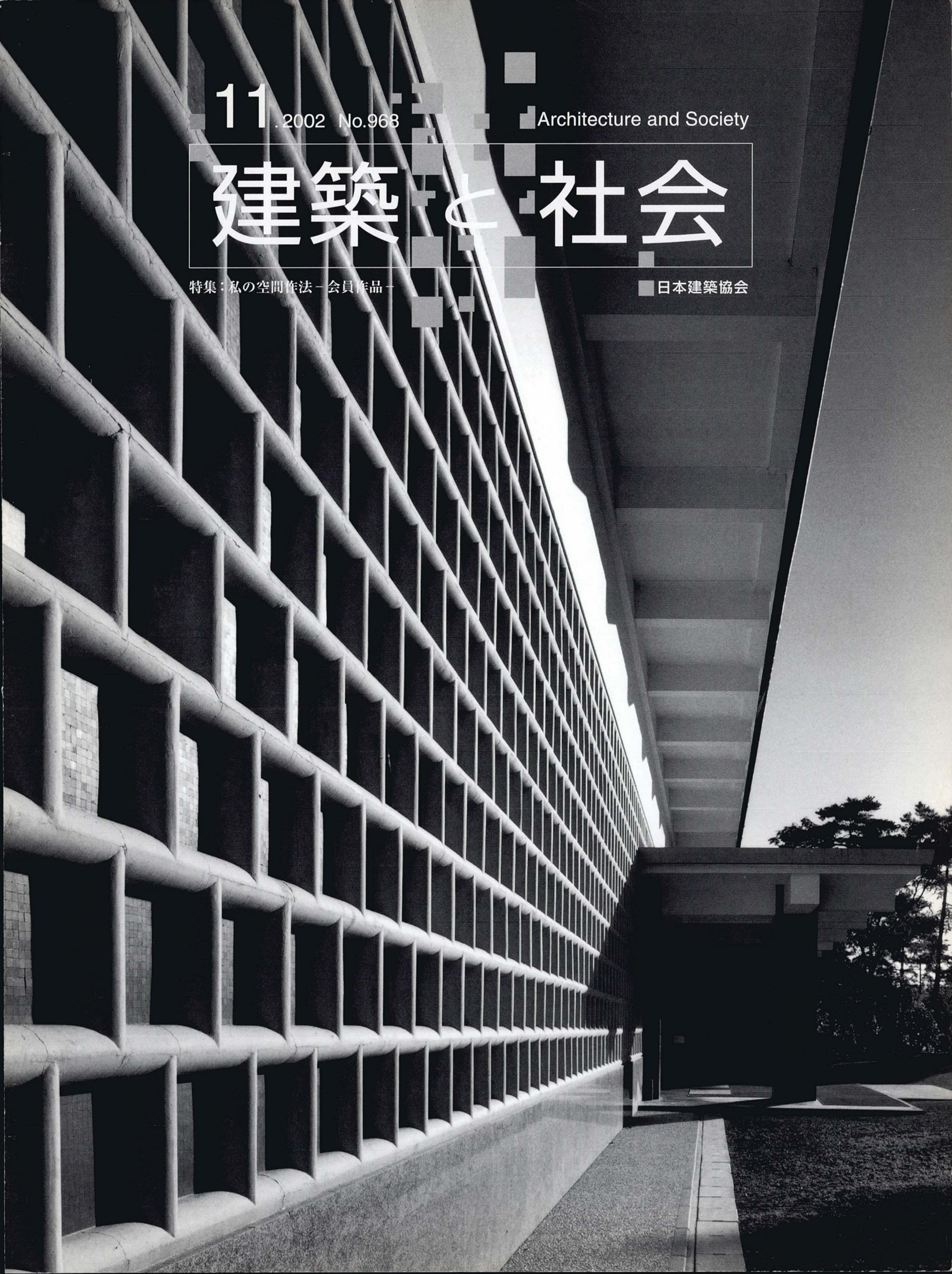
11. 2002 No.968

Architecture and Society

建築と社会

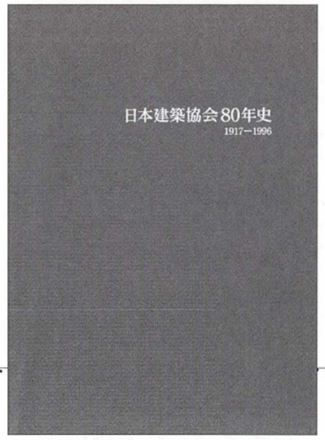
特集：私の空間作法－会員作品－

日本建築協会



「日本建築協会80年史1917-1996」

増刷頒布中　頒価　3,000円



A4判・240頁・並製本

1999年7月に発刊した「日本建築協会80年史1917-1996」は、各方面から好評をいただいておりますが、このたび、皆様の強いご要望により、増刷・頒布することにいたしました。大正6年3月30日に関西建築協会として誕生した日本建築協会の80年の歴史を、様々な事業や委員会活動を通じて、また、本会設立者の片岡安、武田五一以降現在までの会員たちの社会活動を通して知ることができる記念誌として、A4判・240頁にまとめています。

とくに、協会草創期の大正・昭和初期の片岡安ら協会のメンバーと当時の大阪市長・関　一との交流を物語る一文は、大阪の都市計画史、あるいは関西の建築人物誌ともなっています。本会の歴史を知るだけでなく、建築を通して、それぞれの時代の雰囲気を身近に感じることができる大変貴重な資料となるものです。

購入ご希望のかたは、下記要領でお申し込み下さい。

＊

申 込 先　社団法人　日本建築協会
〒530-0001　大阪市北区梅田1-1-3-2100
TEL 06-6348-0635　FAX 06-6348-0634

頒　　価　1部3,000円（税・送料込み）

※増刷部数には限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

「日本建築協会80年史」

●日本建築協会の沿革／委員会活動／「建築と社会」の変遷／大正時代から現在までの本会主催の博覧会・展覧会・講演会／よろず相談住宅展／青年建築家・青年技術者顕彰／工高生デザインコンクール入選者etc.

●日本建築協会創立者と会を支えた38人のプロフィール（片岡　安・設楽貞雄・武田五一・池田　實・波江悌夫・竹腰健造・尾崎久助・東畑謙三・塚本猛次・福田朝生・佐野正一・葛野壯一郎・横濱　勉・松本禹象・宗　兵蔵・園部文雄・日高　胖・野村一郎・古宇田　實・松室重光・松井貴太郎・安井武雄・中澤誠一郎・坂　靜雄・今林彦太郎・井上新二・松本儀八・池田宮彦・錢高輝之・中西六郎・大林芳郎・鴻池藤一・伊東五郎・竹中錬一・鷲尾健三・松村雄吉・横尾義貫・足立　孝）

●座談会「戦中から戦後初期の協会活動」―尾亀清四郎・大林芳郎・小西　岬・佐野正一・横尾義貫・三品哲夫の6氏による終戦前後の協会活動の証言―

＊

■執筆ワーキンググループ
坂本勝比古／安達英俊／石田潤一郎／植松清志／梅宮弘光／桐浴邦夫／酒井一光／橋寺知子／山形政昭／吉田高子／和田康由

■80年史編纂委員会
長谷部朔郎／安達英俊／近藤達夫／谷淳之介／十倉　毅／原見昌志／和田康由／吉田悦二



「日本建築協会の遺産と功績」（坂本勝比古）より

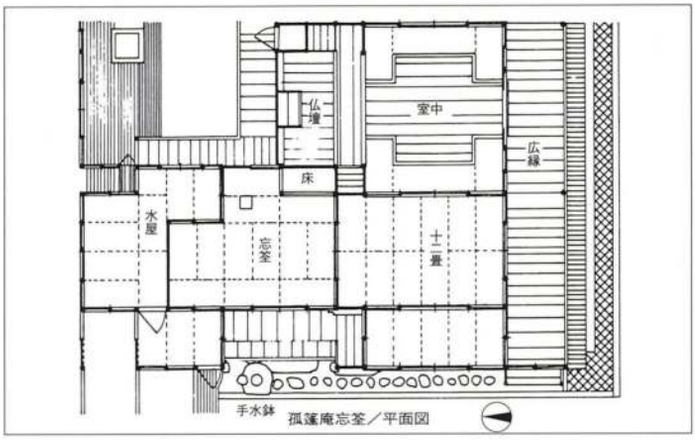


「草創期の人々」より片岡安の項

会告

茶室見学会 第18回 孤篷庵の忘筌

日　時　2002年11月30日(土)
　　14:00―15:00
講　師　中村昌生
　　京都工芸繊維大学名誉教授
集　合　現地／京都市北区紫野大徳寺町
　　＊千本北大路より北東へ
　　徒歩約5分
定　員　40人
　　＊申込者多数の場合は抽選
参加費　会員3,000円、一般4,000円
　　学生 1,000円引 ＊税込
申　込　11月22日(金)までに
　　①催し名：茶室見学会
　　②氏名
　　③個人会員・団体会員・一般の別
　　④職場・学校名
　　⑤参加証郵送先
　　⑥連絡先電話番号
　　を添えてお申込み下さい。
　　＊参加証を11月25日(月)に
　　発送します。
申込先　(社)日本建築協会事業課
　　大阪市北区梅田1-1-3-2100
　　〒530-0001
　　TEL.06-6348-0633
　　FAX.06-6348-0634
　　メール.jigyoka@aaj.or.jp
主　催　(社)日本建築協会
　　事業委員会見学会小委員会
担当主査　森田芳次／安井建築設計事務所
　　坂本良高／大林組



孤篷庵忘筌／平面図

今回は、春に開催された第2回「茶室講演会」をうけまして、大徳寺にある「孤篷庵の忘筌」を見学します。
前回まで利休及び千家に関わりのある茶室を見学しましたが、利休の死後、弟子の武家茶人たちは、あまりに侘びすぎた草庵茶室に、武家社会にふさわしい「武門の茶法」を茶の湯の造形に取り入れようと考えました。具体的には相伴席の出現や、座敷飾りと茶の湯の結合の結果として鎖の間が設けられ、最終的には書院の茶室が生まれるに至ったわけです。
忘筌は孤篷庵の方丈の書院にあたり、遠州はここを茶の湯に使える座敷として工夫し、書院造りの構えだけで茶室を完成させたと言われています。
内部は12畳に一間床が付き、全体に天井を低く抑え、中柱や落ち天井など草庵茶室の要素を用いることなく構成され、北側の3畳間は相伴席に見立てられる造りになっています。座敷の外には広縁、落縁があり、縁先に中敷居を入れて上方には障子を立て、生け垣で客殿の庭園「八景の庭」の景色を遮り、軒下の飛び石、沓脱ぎ石や手水鉢により、忘筌の露地空間を演出しています。　(森田芳次)

理事の辞任について

藤木鐵三（藤木工務店）（平成14年10月31日付）
井上利美（熊谷組）（〃）

2002年建築関係団体合同忘年懇親会

日　時　平成14年12月13日(金)
　　午後6時～7時30分
会　場　太閤園迎賓館
　　ダイヤモンドホール（ビュッフェ・スタイルのパーティー）
　　大阪市都島区網島町9-10
　　電話 06（6356）1111
会　費　6,000円
　　●11月26日(火)までに事務局へお越し下さるか、現金送金にてお申込み願います。
　　●申込者には忘年懇親会参加証をお渡しします。
参加者　350名予定

お願い
(1) 申込の際に氏名(ふりがな)・勤務先をお知らせ下さい。
(2) 申込者で12月2日(月)までに欠席の連絡がない場合は会費のご負担を願います。
(3) 当日は参加証を必ずご持参願います。

2003年建築関係14団体合同新年交礼会

日　時　平成15年1月6日(月)
　　午後2時30分～3時30分
会　場　マイドームおおさか・3階
　　大阪市中央区本町橋2-5
参加者　780名予定
会　費　5,000円（当日欠席されても会費をいただきます）
申　込　12月6日(金)までに会費を添えて最寄り団体にお申込み下さい。
共　催　(社)日本建築協会／(社)大阪府建築士会／(社)日本建築学会近畿支部／(社)日本建築家協会近畿支部／(社)大阪空気調和衛生工業協会等

第48回工高生デザインコンクール入選者発表

― 設計課題：駐輪場 ―

日本建築協会主催による平成14年の標記コンクールの入選者が、右記のとおり決定いたしましたので発表します。なお、入選作品は平成15年1月号に掲載いたします。
●応募校数/23校
●応募作品数/71点

入選・最優秀賞	中島有季子	三重県立四日市工業高等学校	2年
入選・優秀賞	堀池佳奈江(共同制作) 望月　邦旭	静岡県立静岡工業高等学校	1年 1年
入選・優秀賞	芝原ゆかり	三重県立四日市工業高等学校	3年
入選	黒木　文絵	大阪市立工芸高等学校	3年
入選	有藤　祐介	大阪市立工芸高等学校	2年
入選	高橋　侑司	東京都立田無工業高等学校	3年
入選	小林　　淳	私立名古屋工業高等学校	3年
入選	椎葉　正樹	私立名古屋工業高等学校	3年
入選	河村　一希	私立名古屋工業高等学校	2年
入選	漆原　由幸	群馬県立前橋工業高等学校	3年

順不同・敬称略

平成14年度
建築工事実務講習会

主催
(社)日本建築協会東海支部

と　き　平成15年1月29日(水)
　　午前9時30分～午後5時
ところ　昭和ビル・9階ホール
　　(名古屋市中区栄4丁目3-26)
定　員　100名
受講料　15,000円（含テキスト代）
　　＊消費税を含む。
　　＊テキストは、当日配布させていただきます。

■趣旨と内容

- 官公庁・設計事務所・建設業をはじめ、設備・営繕など幅広い分野の有能な技術者を養成する目的をもって講習会を開催します。
- とくに取りつきにくい施工計画と仮設見積、現場実務の基礎である積算業務に重点をおき、講義します。
- また、今回はテキストを改訂し、都市環境の変化に伴う法令・規準の改正なども加え、技術の進歩に即応した知識の習得をはかります。
- 「積算業務」では、建築数量積算基準にのっとり、また「仮設見積」では具体例により、その着工準備から完成に至るまでをわかりやすく解説します。

■申込要領

下記受講申込書に必要事項をご記入のうえ受講料を添えて東海支部までお申し込み下さい。引き替えに受講券を発行致します。
なお、FAXによる申込みは、現金書留にて送金して下さい。

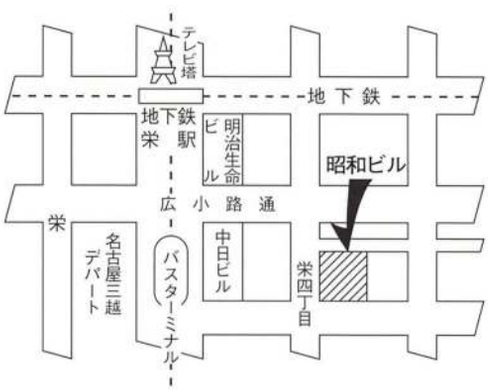
■申込先

(株)日本建築協会 東海支部
〒460-0008　名古屋市中区栄4-3-26
（昭和ビル　愛知建築士会内）
TEL（052）261-1451
FAX（052）261-0251

■申込締切日

平成15年1月10日(金)
※但し、定員に達し次第締め切ります。

- 受付時間
  午前9時～午後5時
  但し土・日・祝日を除く。
- 詳細は、事務局（田中）へお問い合わせください。



昭和ビル
(名古屋市中区栄4丁目3-26)
付近見取図

■科目・講師

一歩踏み込んだ先手の計画!!

施工計画

森　良次氏
清水建設(株)名古屋支店技術統括部長
＊
適切な施工計画の立案できることが、建築現場技術者の必須条件です。安全で、経済的な施工計画を解説します。

計画と一致した仮設費を!!

仮設見積

堀　政広氏
(株)大林組名古屋支店建築工事部技術課長
＊
仮設工事費は、一般には非常に把握しにくい面があって、ついつい単位面積当たり、あるいは請負金比率のみで処理されがちです。施工計画に基づいた合理的で迅速な見積方法を解説します。

迅速かつ合理的な積算!!

積算業務

佐野洋治氏
(株)竹中工務店名古屋支店見積部見積担当課長
＊
見積業務のなかで、基本となるのは数量積算です。この手順、基準を基本により合理的で正確な積算業務を解説します。

きりとり線

平成14年度建築工事実務講習会 東海開催受講申込書　　No.＿＿＿＿

社団法人　日本建築協会東海支部　御中　　平成　　年　　月　　日

郵便番号	受講者氏名	年齢
住所		
事業所名（または氏名）		
担当責任者		
電話番号		
受講料支払方法　•現金書留　•事前申込時持参		

建築と社会 11 2002
ARCHITECTURE AND SOCIETY
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN
1917年創刊　第83集／通巻968号

今月の表紙

表紙デザイン／田村昭彦
企画／倉渕奈千子
建築写真／河合止揚

●大和文華館
設　計／吉田五十八
施　工／大林組
竣　工／1960年
所在地／奈良市学園南１－11－６

●なまこ壁で通常使う平瓦の代わりに、ここではターコイズブルーのモザイクタイルが使われています。そのあでやかな色彩と、上部の漆喰壁のすっきりとした白の取り合わせが、直截に日本的要素を取り入れたこの建物を、モダンで洗練されたものとしています。
訪れた日、正門からの坂道脇に曼珠沙華が燃えるように咲いていました。その強い赤が目に焼きついていたため、タイルのブルーがより印象的だったのかもしれません。　（倉渕奈千子）

■特集予告
12月号／第49回青年技術者大阪市中央公会堂
１月号／東畑建築事務所創立70周年

編集委員会（平成14年度）
■副会長　佐野　吉彦　興謝野　久
■編集担当理事　井上　豊　上原　正行　岡田　聿之　◎設楽　貞樹　竹中　統一　畠山　祐治　広原　盛明　堀田　修二　松村　慶三
■特集小委員会
□計画分科会
★計画系　伊縫　憲幸　梅田　善愛　小浦　久子　※鈴木　克彦　田中　直人　紅谷　昇平　細田　浩史　松田奈緒子　松本　正行　吉村　英祐
★建築計画系　荒木　宏之　江副　敏史　菅野　忠司　小林　優子　桜井　則雄　笹村　欽也　静　茂夫　所　千夏　※野田　隆史　三村　和生
★インテリア・住宅系　加藤　力　小梶　吉隆　佐藤　勝紀　田中　浩介　※高野　直樹　西田　和子　ベリー史子　本山　仁
□構造分科会　大氏　正嗣　大音師　靖　大住　和正　尾上　清治　金田　興熙　木下　隆嗣　白沢　吉衛　住田　隆二　田中　剛　※田渕　勝道　松村　和夫　向井　洋一　吉川　真次
□設備分科会　今井　泰司　梶井　宏修
※河井　康人　河津　隆之　近藤　国夫
■編集担当理事　近藤　正一　田ノ畑好幸　桝井　貴廣　丸山　和夫　村上幸三郎　山根　敏和
□施工材料分科会　植田　実　小椎八重猛　※竹中　秀文
■特集小委員会　太刀川丈爾　平野　剛　横山　芳幸　吉田　正友
□法令分科会　※薄木　三男　大原　幸三　岡本　哲夫　田村　俊郎　中島　和也　溝上　省二
■作品作風小委員会　赤木　隆　淺尾　宏　朝倉　一晃　居内　章夫　池上　明　井上　雅祐　川上比奈子　△倉渕奈千子　寺岡　宏治　中村　文紀　林　孝司　前川　治彦　増田　敬彦　増田　俊哉　山田　俊紀
■会員企画小委員会　稲木　裕子　大谷由紀子　河崎　敦子　清水　麗子　△髙岡　伸一　高田　光雄　辰巳　清一　塚口　明洋　辻川ひとみ　福田　瑞穂
■広告企画小委員会　荒木　俊明　大迎　敏樹　小幡　義明　小山　昭　斉藤　治久　田渕　博昭　竹内　健介　林　一彦　古畑　健一　前田　衛　△渡邊　浩文
◎委員長　△副委員長　※幹事

印　刷　２００２年10月25日
発　行　２００２年11月１日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　話　06-6348-0635
振替口座　00910-9-39975
印刷所　青葉印刷株式会社
日本データネット株式会社
定　価　1200円〔本体価格1143円〕

CONTENTS

特集●　私の空間作法—会員作品—
葛井寺（ふじいでら）の家●井上久実 14
昭和町の集住宅●村重保則 15
淀川の住宅●岡崎善久 16
泉尾の家●小南一郎 17
兵庫県立伊丹高校100周年記念“緑創館”●西川章夫 18
奈良県立万葉文化館●長谷川弘直 19
商船三井ビルディング・ライトアップ●村上幸三郎 20
西吉野村民プール●吉武宗平 21
アートコーポレーション㈱東京北支店●岩下博美・小島富士夫 22
南平台の家●浅野　裕 23
松本市街地小規模ビル（住居店舗併用ビル）●新居照和&ヴァサンティ 24
鈴鹿山新収蔵庫●長瀬博一 25
G—HOUSE●八木康夫＋八木圭子 26
四国88ヶ所ヘンロ小屋プロジェクト●歌　一洋 27
西宮協立リハビリテーション病院●塚口明洋・塚口眞佐子 28
北淡町室津ビーチハウス整備●上谷重男 29
奈良・学園前の家●岩本貞幸 30
玉津の家●森川哲治 31
西宮の住宅●杉本真一 32
伊川谷駅前広場案内所●田中直人 33
㈱大林組名古屋支店●植松曄子 34

会告　茶室見学会⑱孤篷庵の忘筌．理事の辞任について．2002年建築関係団体合同忘年懇親会．2003年建築関係14団体合同新年交礼会．第48回工高生デザインコンクール入選者発表—設計課題：駐輪場—．平成14年度建築工事実務講習会—東海支部— 1

作品作風　兵庫県西播磨総合庁舎 4
KTCものづくり技術館 6
金井産婦人科 8

gallery　音環境デザイン—音を通して環境と対話する（庄野泰子）●寺岡宏治 10

建築の眼　掃除Ⅰ●吉村篤一
景観行政・新たな展開（5）●倉橋正己
電子メディアと違和感●種村俊昭
スローライフ・スローエンジョイ●増地秀夫 12

法令コーナー　建築基準法の改正●納谷浩一 35

構造の頁　圧密沈下を考慮した性能設計への取り組み●平川恭章／大堀太志 36

設備の頁　家電リサイクルの実情と課題—「商品から商品へ」を基本コンセプトに—●堤　常固 37

研究最前線を追う　交通騒音制御と新型遮音壁●九州芸術工科大学／藤原恭司研究室 38

くでん一口伝一を活かす　体験がなにより大事（失敗したり、怖い目にあって成長）●上原正行 39

新建材の頁　耐水型浮き床用緩衝材●森川　務 40

REPORT　水都再生建築展—水都大阪の「絵／ヴィジョン」●米津正臣 41

information　村野藤吾建築設計図展．「大大阪時代の建築」—大阪歴史博物館—．「関西宇宙工場の挑戦～モノづくりに始まる技術と夢～」展．ART BOX NAGOYA 2002．環境共生シンポジウムを大阪で 42
山地さん、町びらき40周年の千里開発の原点をたどる 42

月間の動き　平成14年９月分 43

西側エントランス周り

道路側ファサード



所 在 地 ―― 兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25
敷地面積 ――28,780.67㎡
建築面積 ―― 7,967.29㎡
延床面積 ――10,980.22㎡
構造規模 ――S、2F、P1
工　　期 ――2001年6月～2002年6月
最 寄 駅 ――JR山陽新幹線・相生駅
撮　　影 ――藤塚光政（左頁）
　　福澤昭嘉（右頁）

作品
作風

設計■ 設計組織ADH＋法政大学渡辺研究室（基本設計）
兵庫県企業庁科学公園都市整備課（実施設計）

構造■ 梅沢建築構造研究所、類設計室

設備■ 兵庫県企業庁水道課、類設計室

設計協力■ オンサイト計画設計事務所（環境整備）
GK設計（サイン）、LPA（照明）

監理■ 兵庫県企業庁科学公園都市整備課・水道課
設計組織ADH（デザイン監理）

施工■ 竹中・大谷・吉田特別共同企業体

兵庫県西播磨総合庁舎

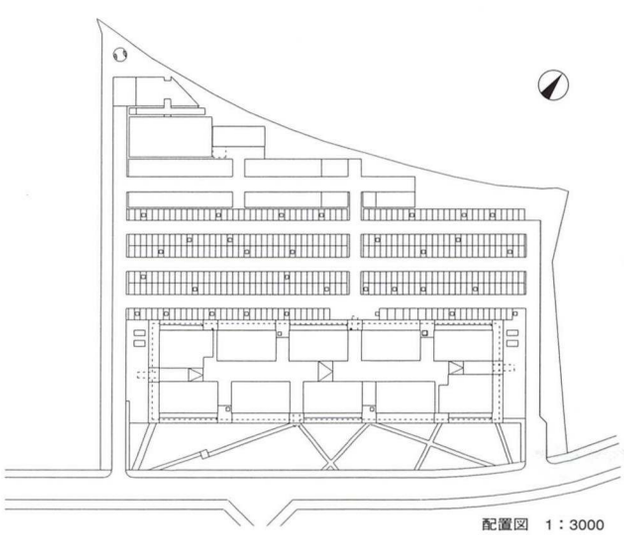
兵庫県西南部の豊かな自然に恵まれた丘陵地に広がる播磨科学公園都市では、「人と自然と科学が調和する高次元機能都市」を基本理念に、まちづくりが進められている。その理念を具体化するため、「時間とともに成長する森の中の都市」というデザイン指針のもとに、アーバンデザイン計画が策定され、自然と調和した景観形成が図られている。

西播磨総合庁舎は、その播磨科学公園都市に立地するため、まちづくりの理念を反映した、「アーバンデザイン、環境配慮」をテーマとして、次のような特徴を持つよう設計された。

・敷地全体が十分に植栽された、再生林越しに見え隠れする庁舎。
・働きやすい規模のオフィスが蓮の根のような繋がり方をした、リゾーム型動線を持つ「人間サイズ」の庁舎。
・大屋根で覆われ、ゆとりと自然を感じることのできるコンコース。
・庁舎の消費電力全てをまかなうことができる、大屋根全体を利用した国内最大規模の太陽光発電システム。
・間伐材を活用した木製ルーバーをはじめとする、木質化。

西播磨総合庁舎は、従来の庁舎のイメージを刷新する、21世紀にふさわしい庁舎になったと考えている。なお、設計及び監理に際しては、科学公園都市のマスターアーキテクトの一人である、法政大学渡辺教授に多大なご指導を受けた。今後とも、科学公園都市の施設設計にあたっては、環境配慮などの考え方を引き継いでいきたいと思っている。

（栄　真樹／兵庫県企業庁科学公園都市整備課）



配置図　1：3000

右頁上より：大屋根屋上／コンコース／県民ホール











所 在 地 ―― 京都府久世郡久御山町大字佐山
小字新開地171-1他
敷地面積 ――14,885.17㎡
建築面積 ―― 1,291.32㎡
延床面積 ―― 2,938.83㎡
構造規模 ――RC、3F
工　　期 ――2001年12月～2002年8月
最 寄 駅 ―― 京阪電鉄・八幡市駅
撮　　影 ――古川泰造

作品集

設計・監理■
竹中工務店

施工■
竹中工務店

KTCものづくり技術館

「KTCものづくり技術館」は、自動車整備工具のハンドツールメーカーである京都機械工具（KTC）が、久御山町の本社工場敷地内に新設した、工具ショウルームのある研究開発施設である。当館は「ものづくり」への「こだわり」の試金石として、50周年記念事業に位置づけられた、社内改革のフラッグシップモデルである。

■顧客へのこだわり

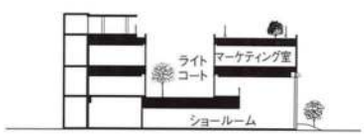
車関連工具の実証研究の過程で、顧客とのレスポンスを計れる体験型のショウルームは、車整備を体験できるガレージや、触れて使って比較できる工具展示を主眼としている。そしてショウルームに接して、工具試作、品質検証、素材研究をするスペースがあり、そこで実証された知恵を上階の研究開発ゾーンへ投入するプログラムである。

全体として工具に関する「ものづくり」を、顧客と共に共感できる施設であり、顧客へのやさしさを享受できる「こだわり」と「ウェルカム」を基調としてデザインされている。

■環境と空間へのこだわり

吹き抜けのあるライトコートを中心に、ガレージから屋上へと連なる外部空間の連続性を演出し、内外部の交錯、執務スペース相互の視覚的な繋がりにより、オフィスのアメニティを向上させた。又、断面的に顧客、見学者にオープンなコミュニケーションゾーンと、よりシークレットな研究開発ゾーンを設定し、ライトコート廻りのセキュリティと回遊性が共存できるよう計画した。更に豊富な地下水利用による屋上を含めたトータル緑化を推進し、氷蓄熱空調採用等環境負荷低減に貢献している。

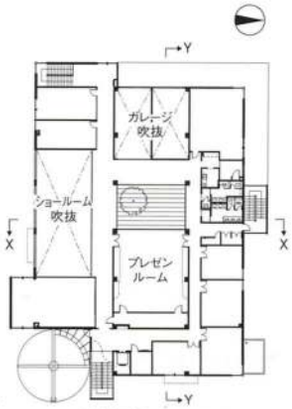
（小林康夫／竹中工務店）



X-X断面図　1：1000



Y-Y断面図　1：1000



2階平面図　1：1000










金井産婦人科
金井産婦人科

作品
作風

設計・監理■
WAW・渡部建築事務所

施工■
鴻池組

金井産婦人科

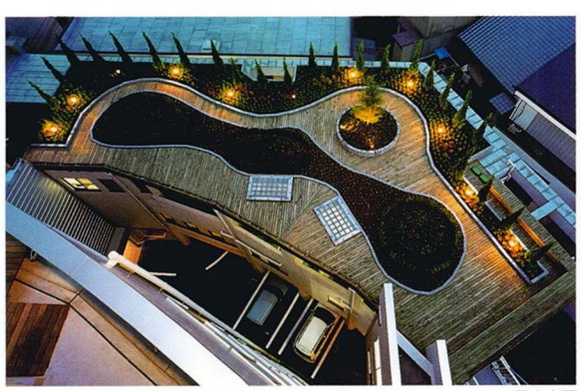
この建物が建つ大阪市城東区今福周辺は、地下鉄長堀鶴見緑地線に加え、地下鉄８号線、広域避難路の指定など道路、交通網の整備が急速に進む一方、周辺工場跡地の高層住宅化とあいまって、世帯数の増加が著しい所である。

当計画は少子化による分娩数の減少と、患者が医療機関を選ぶ時代に生き残る産婦人科はいかに有るべきかを追求しながら進め、３階の新生児室、ナースステーション、LDR、手術室を中心に１、２階を診療部門、４、５階を病室及びレストラン、６、７階を住宅として計画した。

国道１号線蒲生４丁目交差点の南にひときわ目を引くガラスの円柱は、夜間ライトアップされ、その昔河内湖が隆起して出来た寝屋川を行き交う屋形船の為の道しるべ、現在は広域避難路のランドマークをイメージしたものである。内部は優雅で静かな環境を求めて「カトレア」をモチーフにした色彩とサインや二重サッシュの採用で、明るく落ち着いた空間が確保できた。また一流ホテルクラスの病室をはじめ、既存建物屋上を緑化した庭園を望む小粋なレストラン、ヘアエステサロン、各種最新鋭ＩＴ機器など患者に選ばれるポイントを徹底的に追求した。

特にエントランス周りは院長の提案で、躍動する生命と健康をテーマにした彫刻、受付壁面には「命への愛」のメッセージ等により、充実した医療とサービスで患者を迎える病院のポリシーを表現している。当建物は既存の不妊センターと共に、時代の最先端を行く産婦人科病院が誕生する事となった。

（渡部慶一／WAW・渡部建築事務所）



屋上庭園

所 在 地 ―― 大阪市城東区今福西
敷地面積 ――　807.45㎡
建築面積 ――　565.78㎡
延床面積 ――2,567.09㎡
構造規模 ――SRC、B1F、7F
工　　期 ――2001年5月～2002年4月
最 寄 駅 ――大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線・蒲生4丁目駅
撮　　影 ―― 花城辰男（写トリエ・時空）

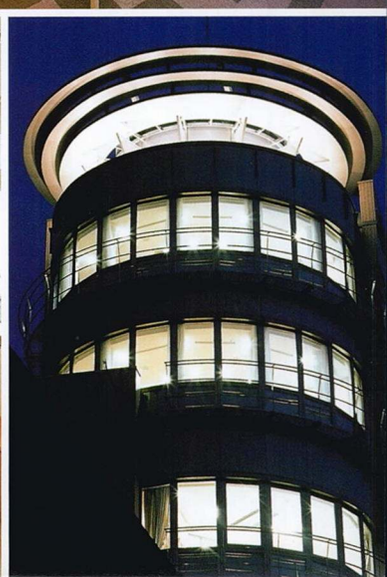
右頁上より：１階エントランスホール／３階LDR／５階レストラン／
５階ヘアエステサロン／外観ライトアップ











gallery

音環境デザイン
―音を通して環境と対話する―

音環境デザイナー
庄野泰子

音環境デザインは、聴くコトをデザインする。
それぞれの人が独自な感性で、発見的にそこから何かを聴き出す場、つまり創造的に音を体験する場をしつらえる。
耳が環境へと開かれ、聴くコトを通して、自己を取り巻く世界へと、意識が開かれていくことを願っている。
そこでは音は、一瞬一瞬を駆け抜けながら、「出来事」と私たちを結びつける。

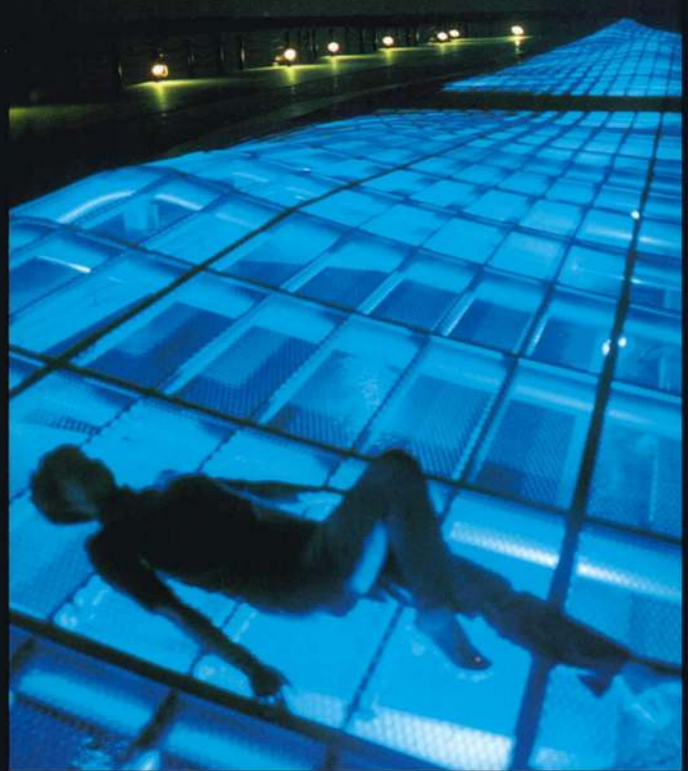
庄野泰子（しょうの たいこ）

青森市生まれ
東京学藝大学大学院（音楽学）修了
1984年　サウンドスケープ・デザイン研究所共同設立
1988年　独立　office shono設立
1989年より、国土交通省・東京都など行政関係の委員をつとめる
2000年　日本建築美術工芸協会AACA賞大賞
日本商環境設計家協会JCD特別賞
2001年　ar+d Award最優秀賞
北米照明学会国際照明デザインAward of Merit

撮　影―ⒶINAX
Ⓑ松下電工
Ⓒoffice shono
企画編集―寺岡宏治（作品作風小委員会）

Ⓐ





「Wave Wave Wave」（福島県小名浜港２号埠頭）　Ⓒ

波



Ⓑ

「海のWave」と「音のWave」と「身体のWave」が交差する場。
海に突き出た埠頭の先端に設置された幅６～８m、長さ７６mの網状の巨大な、海上のベンチ。その様々なふくらみやくぼみを持ったうねりの形状の上に、腰掛けたり、寄り掛かったり、寝転んだり・・・身体的にどう関わるかによって、音は様々な方向からやってきて、体を包み込む。
夜は内部からのライトアップによって、そのうねりの形状が、柔らかい陰影を生み出している。また音を聴くために逍遥する人々が、シルエットとなって浮かび上がる。

風



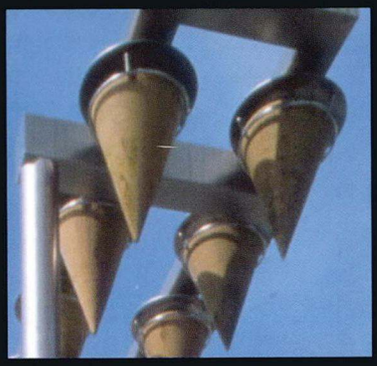
風の丘葬斎場「風のベンチ」　（大分県中津市）

「風の丘」に吹いている風の風速・風向がリアルタイムで信号化され、その情報に応じてエアーが、様々な長さのパイプの集積に吹きつけられる。その音は地中に埋設された40mの伝声管を伝って、ベンチ下にある井戸のように深く掘り込まれた空洞で響く。そして、風が吹き抜けるような音となって、ベンチの下から立ちのぼってくる。
エアーの量や、エアーを吹き付けるノズルの移動する速度は、自然の風に応じて変化する。
風が弱い時は、音は静かにゆるやかに変化し、風が強い時は軽やかに変化する。
また風が、この地域のランドマークとなっている山や神社の方角へ吹いた時には、それぞれ特別な音が響く。
この風の声に、時折葉ずれの音や飛行機の音が加わり、その重奏に耳を傾けるうちに、意識は環境へと開かれてゆく。
最近の葬斎場では、煙りを出さない構造になっているが、音がその煙りに成り変わって、地中から空へ向かって拡散してゆくことで、ある意味の鎮魂歌となることを願っている。

建築：槇総合計画事務所
撮影：office shono

大気







国営越後丘陵公園「冒険の丘」フォリー　（新潟県長岡市）

小高い丘の長い階段を登り終わると、そこには軽やかな水音と金属音が、幾重にも鳴り響いている。
空中に設置されたいくつものテラコッタの先端からしみ出す雫。その水滴は風に吹かれながら、渦巻き状の金属製のオブジェの様々な箇所に当たって発音する。水滴のしみ出し方は湿度によって変化し、それが当たる（当たらないことも含めて）タイミングや組み合わせは、いまそこに吹いている風が決定する。大気が音の決定者、つまり即興の奏者となって、二度と繰り返されることのないその時々の「偶然の音楽」を奏で、人と環境をつないでいる。
オブジェの間は通路になっていて、その中に入り込むと立体的に音に取り囲まれ、音から、大気が刻一刻と移り変わっていくのを感じ取ることができる。
人々は大気が奏でるその音に耳を傾け、音が鳴っているその場の気配に心を傾ける。

建築：UPM／八束はじめ氏
撮影：平井広行

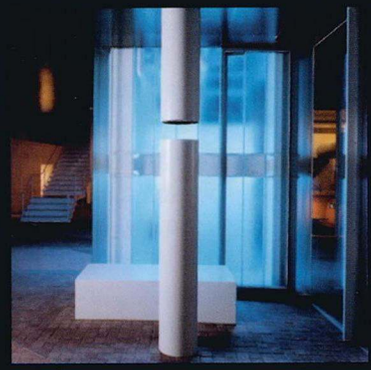
雨

ビッグハート出雲　「Sound Column」（島根県出雲市）

屋上に降った雨の一部を、建築内部に引き込み、濾過した後に、水滴にして柱の中に落下させている。
柱内部で響いている音が、よく聴こえるように開口部を設け、そのため柱の一部が切り取られた形になっている。視覚的に未完結なこの柱は、内部を雨水が落下し、その隙間がつながれた時に、そして音が発生しそれが聴覚的に体験された時に、はじめて柱として成立し、意味のある存在となる。
このように音のデザインを根拠として生まれた形は、建築内の他の要素にも反映され、空調・防犯カメラなどの機能をもつ柱として、同様の形の柱がデザインされた。視覚と聴覚のデザインが、互いに呼応し合うことで実現したのである。

建築：C+A／小嶋一浩氏
撮影：金門電気

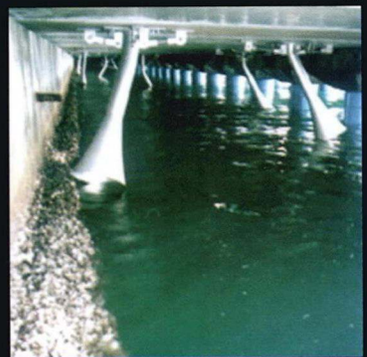




Ⓐ



Ⓒ



Ⓑ



「Umi-Tsukushi」（福島県小名浜港２号埠頭）

海にあてた聴診器。
桟橋下の様々な部位の波の音を、ホーン型の装置で集音し、それをプロムナード上に伝えている。歩きながら音を探したり、音から潮位を推測したり、ホーンの高さに合わせて体を動かしたりという「音のオリエンテーリング」の場でもある。
夜はライトアップされた各々が、実際の波の音にリアルタイムで反応して明滅する。音のリズムが光のリズムと連動し、自然界の有機的なリズムをもつ光の生命体のように輝く。

掃除 I

吉村　篤一

何でも掃除をするとそのものの成り立ちがよくわかる。車、家、庭など、つね日頃私たちが無意識に体験している空間でも、掃除をしてみるといろいろな発見があって楽しいものである。といってもそれほど頻繁に掃除をしているわけではないが、そうであるからこそ新しい発見や示唆的なことがあるのだ。わが家の小さな庭に落ち葉がたまっているのを見て思い立って掃除をしてみた。ふつうは竹箒を使って落ち葉を掃くのだが、敷石の間や木の根っこの間のように凹凸のある部分にある小さな葉はどうしてもとれない。そこで、手が汚れないように軍手をはめてやると竹箒よりはずっとよくとれる。しかし、さらに細かい隙間などの場合は素手でないととれないことが多い。又、砂利や苔の上に落ちている松葉などは手でとらなければ庭が駄目になる。最後はやはり人間の「手」がものをいうのである。そして、そういった掃除のしにくい箇所があることによりその空間は魅力が増すことが多い。つまり、掃除のしにくい空間のほうがより魅力的なのである。一般的に私たちが空間を設計する場合、掃除やメンテナンスがやり易いように考えることが多いが、そのことを優先してしまうと魅力的な空間は生まれにくいのである。そういえば、過去の名建築は必ず掃除のしにくいところがあったし、メンテナンスもやりにくいものが多かったようだ。

奈良女子大学生活環境学部人間環境学科教授

景観行政・新たな展開(5)

倉橋　正己

身近な景観づくりが始まろうとしている。生まれ育った自分たちの街が変化して面影が失われつつある中で、慣れ親しんだ居心地のよい生活空間を求める動きである。

狭い路地や戦前長屋が密集していた神戸の新長田北地区は、震災で大きな被害を受け、復興土地区画整理事業で個々の建て替えが進んでいる。ここでは住民が家と街をつくる作法として「いえなみ基準」をつくった。震災前の「下町のつくり」の特性を生かして、屋根は勾配をつけ平入りにする。隣り合う家屋同士の間隔は狭め、代わりに道路や背割り線からのセットバックで空間を生み出し、環境上の配慮や緑の確保につとめる。店舗や工場の１階は道路から中が見えるようにして賑わいを演出する等が地域住民間の景観協定として決められている。

また、神戸市の東部の山手地区は、御影石の石垣と生け垣が通りに面してどこまでもつづく戸建て住宅街。最近建て替えが進むにつれて石垣を積まない家が出てきたことから、何とか石垣を造ることをルール化できないかという動きが出てきた。

これまでの景観形成地域の指定は、異人館の街、近代西洋建築が集まる街、中華街など、他地区と比較しても街並みとして顕著な特色を持つ地域が対象となってきた。

しかし、街はこういった地域ばかりで成り立っているのではない。むしろ強烈な個性を持たない一般的な生活の場がほとんどである。このような地域での街並みについてもこだわりを持つべき時期が来ている。真の「神戸らしさ」を保つためにも。

神戸市都市計画局アーバンデザイン室長

電子メディアと違和感

種村　俊昭

この欄の前々回（8月号）で「建築を描こう」と言う題で、CADの問題点を書き、前回（10月号）では「軽薄透迷」という題で現在の世相と建築雑誌をにぎわす建築傾向について書いたのであるが、つい最近これに類する気になる記事を読んだ。少し紹介すると、20年前から文芸誌の文学新人賞の下読みをしている高野庸一氏が、「電子メディアの台頭とともに、投稿作品の内容が大きく変わり、バーチャル・リアリズム小説の傾向が激増してきた。」「『私小説』や体験に基づいた『自我の探求』や社会的な不条理と戦う『全体と個人』をテーマにした作品傾向は影を薄める。今ここに生きる実存としての『わたし』が希薄になっていく代わりに、どぎついエロ・グロ・ナンセンスかその複合体を内容とした作品群が登場する」というものである。これは世相的な面からくるのも確かだが、書くと打つでは脳の使い方が違うことからおこるのも事実であるらしい。と書いてる私も、この原稿も含めプロポーザルの提案書から完成した建物の紹介記事に至るまで、昔のようにエンピツで書いては、消しゴムで消し、あるいは破り捨てて新たな紙に書き、手の裏を黒くしてということではなくなり、パソコンでいきなり書き始め、以前に打ち込んでいる文章を足し、そして簡単に削除し、入替え…。まさしく便利である。昔ほどおっくうではなくなる。しかし、何かしら違和感のようなものも感じはじめている。便利、簡単は、何か失うものがある。真剣味がなくなるような気がする。そして、ｅメールに対しても。

日本設計関西支社チーフ・アーキテクト

スローライフ・スローエンジョイ

増地　秀夫

最近、一緒に仕事をしてきた社内外における先輩方からリタイアの挨拶状を戴くことが多くなりました。どの文面にも「自然と向き合いながら、ゆったりとした時間を心豊かに過ごすつもりです。」と書かれています。すべてが、あわただしい渦の中で、「すぐに」が一番重要視されている現代、楽しみ方も「その場、その時さえ楽しければ…」となっているようです。モノづくりや家づくりも、簡単さ、速さが主流のようです。その反動が、「リタイア後こそ…」となるのでしょうか。

15年ほど前から、趣味と仕事を兼ねた「鳥取県の因州和紙」との対話をしています。住宅に伝統の和紙の良さを少しでも持ち込みたいとの想いから始まった、現代の「和紙づくり」は、じっくりと味わって作り上げる「スローライフ」と、早く簡単につくり上げたい「クイックライフ」とのぶつかり合いだったと思われます。伝統の手法と機械化、伝統の意匠と現代のデザインなどの対立と融合から生まれた現代の和紙。原材料の違いや日々の気温・湿度などの違いで、毎日できあがるモノが異なってきます。また、毎年続けている新しいモノへのトライも、開発という言葉より、和紙と対話していると言った方が適切と思えるほど、携わる者に心地よい満足感を与えてくれます。

『スローエンジョイ』。自分の中に、ひとつぐらいこんな楽しみ方の出来るものを、ずっと持ち続けることが、現役とリタイアの境界線のない一生かなと思っています。

積水ハウス（株）商品開発部内装設備設計室長



私の空間作法

日本建築協会■会員作品特集

9回目を迎えた本特集、今年も21の個性あふれる作品をお届けいたします。それぞれのテーマに立ち向かい、確かな意志と熱意により作りあげられた作品には、清々しさを感じます。今後も、会員の皆様の意欲的な作品が、多く生まれる事を願っています。

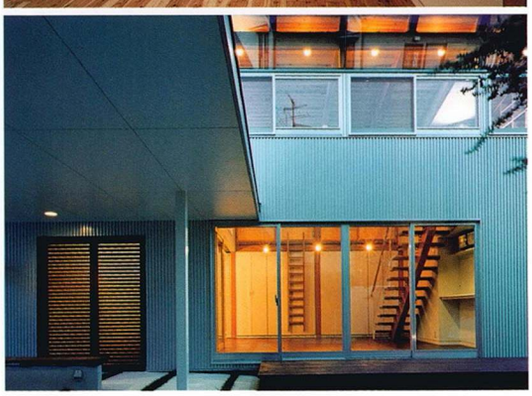
企画編集　作品作風小委員会

陽りと暮らす

井上久実　井上久実設計室







住まい手は65歳を超えた夫妻ふたり。
夫婦からの要望は、庭の草木に十分な光を与えたい事と長年捨てきれなかったモノを全て収納したい事の２つであった。
庭に面した人の暮らす背の高いボリューム、背中合わせのモノの収まる低いボリューム、その２つを勾配の異なる屋根面で包む事にした。
隣家の影となる南東の庭に朝日を入れる為、外壁頂部に反射ガラスを傾けて嵌め込み、反射光として庭に光を落とした。反射ガラスの下部は長手方向全長を横連窓とし、室内にたっぷりと光を取り入れている。
低い方のボリュームには、建物の長手方向に内外部合わせて平行に４列の収納棚を並べ、モノの置き場所をあらかじめ決める収納計画とした。
竣工から２ヶ月が過ぎ、庭の草木は青々と茂っている。
人が集い、光が集うこの住まいで夫婦が生活を楽しんでくれることを望んでいる。　（井上久実）

■葛井寺(ふじいでら)の家

所在地	藤井寺市
施工	松本工務店
敷地面積	273.99㎡
建築面積	134.98㎡
延床面積	183.65㎡
構造規模	W、2F
竣工	2002年８月
撮影	上諸尚美

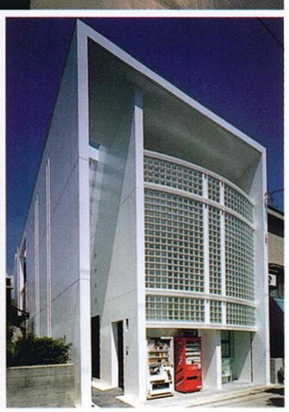
町家の路地

村重保則　村重保則現代建築設計事務所









敷地はこれといって特異性のない住宅街である。縦長の敷地には白いマッスが隣接した環境と必要な諸室によりまず置かれた。
コンクリートを折り込み構成した壁間に生じる隙間がこの建築を決定づけるアプローチ、パティオとなる。
長手に通路を取り、入口から一気に視線をとばし、日常では得られない空間を演出するのはこのテの敷地の常套手段であるが、吹き抜けが3層分の高さをもってそれを更に非日常的なものにしている。
現代における空間の持つ力とは、ただのエンターテイメントにしかなり得ないように思う。ただそういった状況においてでも、歴史や伝統そして先達の建築家達に裏打ちされた方法は存在する。それを有効に使用し、生活の中に少しの変化を演出することが我々建築家に唯一許されたゲームであろうか。

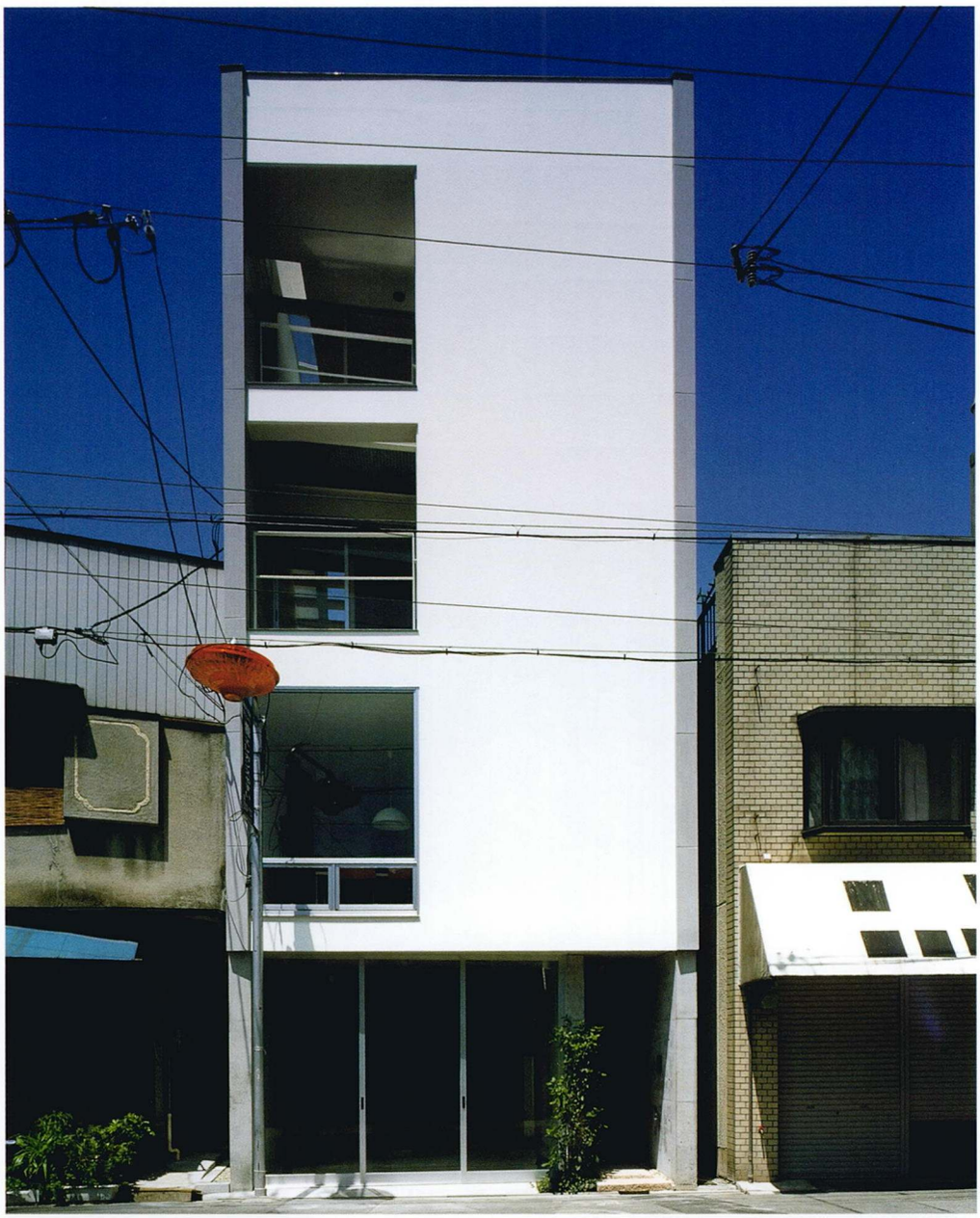
（村重保則）

■昭和町の集住宅

所 在 地　山口県岩国市1-2-15
施　　工　勝井建設
敷地面積　176.85㎡
建築面積　129.69㎡
延床面積　315.22㎡
構造規模　RC、3F
竣　　工　2000年8月
撮　　影　磯谷写真事務所

小さな敷地に建つ都会の住宅

岡﨑善久　岡﨑善久建築設計事務所







阪急十三駅から、商店街を通って、西南に10分のところの位置にある。敷地は、15.8坪と小さいが、事務所と家族５人が、生活するための空間が必要である、必要条件と厳しい。
１階は、事務所と住居のエントランスだけである。
エントランスは、奥行を感じるように細く長くし、路地を意識させ、又、奥には、ガラス越しに、小さな庭を設けて、自然が家の中に入ってくるような感じである。
２階には、LDKとトイレ・階段
３階は、浴室と夫婦の寝室・階段
４階は、子供達の部屋である。
ここで、計画を進めるに当って、問題となったのは、ゲスト・ルームである。この解決方法として考えたのは、夫婦の寝室にたたみを敷き、ある時はゲスト・ルームとして、ある時は、夫婦の寝室として、色々と利用することが出来る住空間とした。たたみの間は、様々な生活に対応することが出来る便利な空間であり、材料である。
ー小さな都会の住空間ー
やがて、30年が過ぎると、１階の事務所を改造して、老夫婦となった老夫婦のための空間に再生させて、２世帯住宅として、実現出来ることを提案している。
小さな敷地に建つこの住宅は、生活の環境に対応した、スクラップandビルドではなく、永遠に住み続けて行く事を考えた、21世紀の小さな敷地に建つ都会の住宅であると思う。
ー都会の思い出としてー

（岡﨑善久）

■淀川の住宅

所 在 地　大阪市淀川区十三元今里1-15-2
施　　工　建築工事プロデュース
敷地面積　52.26㎡
建築面積　37.72㎡
延床面積　133.64㎡
構造規模　1F：SRC、2～4F：S
竣　　工　2002年６月
撮　　影　松村芳治

高床式の町の住まい

小南一郎　小南一郎建築研究所



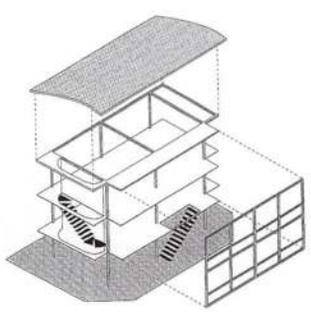






大阪市の南西部、尻無川の河口にも程近い泉尾の下町的雰囲気を残す市街地にこの住まいは建っている。敷地は３方道路に面し、北側は駐車場という４方から見られる立地条件である。過去に２度、水害の体験を持つ建築主との協議で、１階を全面ピロティ空間とした高床式住居として設計している。２階はワンルーム的な居間が広がり、その片隅から３階の個室群に継がる構成となっている。シンプルなBOXの上に架けられた緩やかにカーブする大屋根は、三方にハイサイドライトを持ち、天井面を介して入る天空光と通風により、明るく爽やかな居住環境を実現させている。

（小南一郎）



アイソメトリック

■泉尾の家

所 在 地　大阪市大正区泉尾
施　　工　三木組
敷地面積　107.74㎡
建築面積　 75.22㎡
延床面積　179.54㎡
構造規模　S、3F
竣　　工　1999年５月
撮　　影　原　定理

創造の館

西川章夫　ニシカワ設計





在校生、教職員、PTA、卒業生、地域の人々が集い、実用性のある記念館を造りたいとの要望から、アンケートを募り、私自身、建設実行委員会に入り、約一年間検討された計画である。

デザインのテーマとしては、低コストで建設し、低維持費であること。そして若々しい高校生の感性に呼びかけるものであること。

具体的なテーマとして、開口の大きさ、配置に着目した。ホールを空調なしで造ることは困難だが、空調する期間を少なくすることは出来る。主要室を北側に配置し、南側の開口部を小さく分割することにより、均一な採光を得、投射率が約20%下がる。それにより熱負荷を低減し、空調負荷を押さえることが出来た。又、その小さな開口の大きさを柱の太さに合わせて、その倍数を全体のプランの柱割に合わせることにより、均一なデザインを目指した。

（西川章夫）

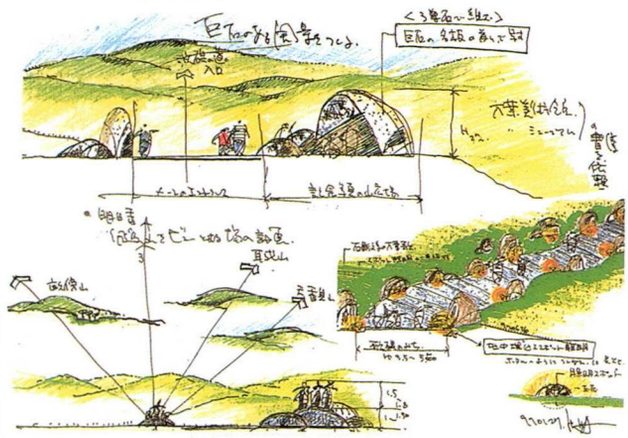
■兵庫県立伊丹高校
100周年記念“緑創館”

所在地　兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-31
施　工　竹中工務店
敷地面積　47,576.38㎡
建築面積　648.89㎡
延床面積　1,237.37㎡
構造規模　RC、2F
竣　工　2001年10月
撮　影　エスエス大阪・青木達也

奈良万葉の庭と園

長谷川弘直　ランドスケープ・アーキテクト／都市環境計画研究所





景観計画のコンセプトデザイン



奈良飛鳥には、様々な古代の謎が秘められ、不思議ないにしえのロマンを感受させる。なかでも石舞台や酒船石・亀石・猿石など巨石・謎石の石造物も多く、興味深い地域風景を有している。庭と園は、万葉文化館を回遊して観る庭から、つかう庭に主眼をおいてつくった。空間・景観デザインは、風景としての歴史風土に呼応する（万葉の新風景）を創るを主題として３つのエレメントから造った。

- ●場所のもつ明日香の里山丘陵・棚田と田園・大和三山・甘樫の丘に連続し、借景と周辺の景観と融合するダイナミックな起状の大地をつくる。
- ●万葉集に歌われた奈良の生活文化・風景からつくる。
- ●奈良明日香の不思議な謎石・巨石・巨木・磐座・大海様・湧水石・築山思想からつくる。

万葉の新風景は長い時間のなかで、いつの日か風化して明日香の風景に同化すれば私の景観作法は成功といえる。

（長谷川弘直）

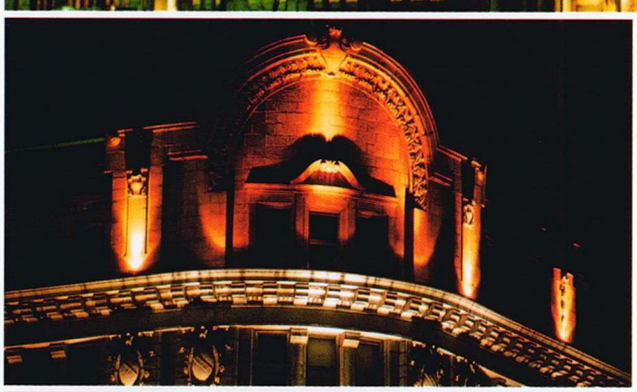
■奈良県立万葉文化館

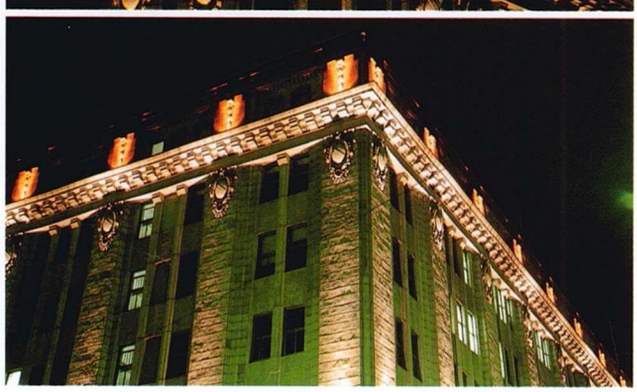
所在地　奈良県高市郡明日香村
設計・監理　建築一安井建築設計事務所
遺跡調査・復元　奈良国立文化財研究所
施工　近鉄造園土木、坂本造園・植清造園・名村造園JV、野島造園土木・栄山JV、植田造園土木・日高造園・若林造園JV、川西造園土木、庭貞、北尾造園土木、三和、芝造園、米澤組、南都緑化、西浦造園土木、橋本造園、福田組、森井建設、他
規模　約40,000㎡
竣工　2001年９月
撮影　長谷川弘直、荘田隆久

光のドレスアップ

村上幸三郎　村上デザイン事務所







渡辺節建築事務所の設計により大正11年竣工した鉄骨鉄筋コンクリート造７階建で、旧居留地の数ある近代建築物の中でも、当時のままに宝冠を戴く貴婦人のごとき姿を残す唯一のビルディングである。

先年の大震災による被害もあり内外装の改修が行われ、併せて外観照明設備が設置された。２～６階の柱状壁面と上部のメダリヨン、大きく張り出したコーニスをコンパクト形セラミックメタルハライドランプ70Wで照明し、南西部の曲面をシンボリックに扱うとともに、最上階の装飾部などはハロゲンランプ130Wで効果的な演出とする、省エネルギーに配慮した計画である。

このライトアップが加わり、歴史と風格ある旧居留地エリアに新しい夜間景観が現出した。

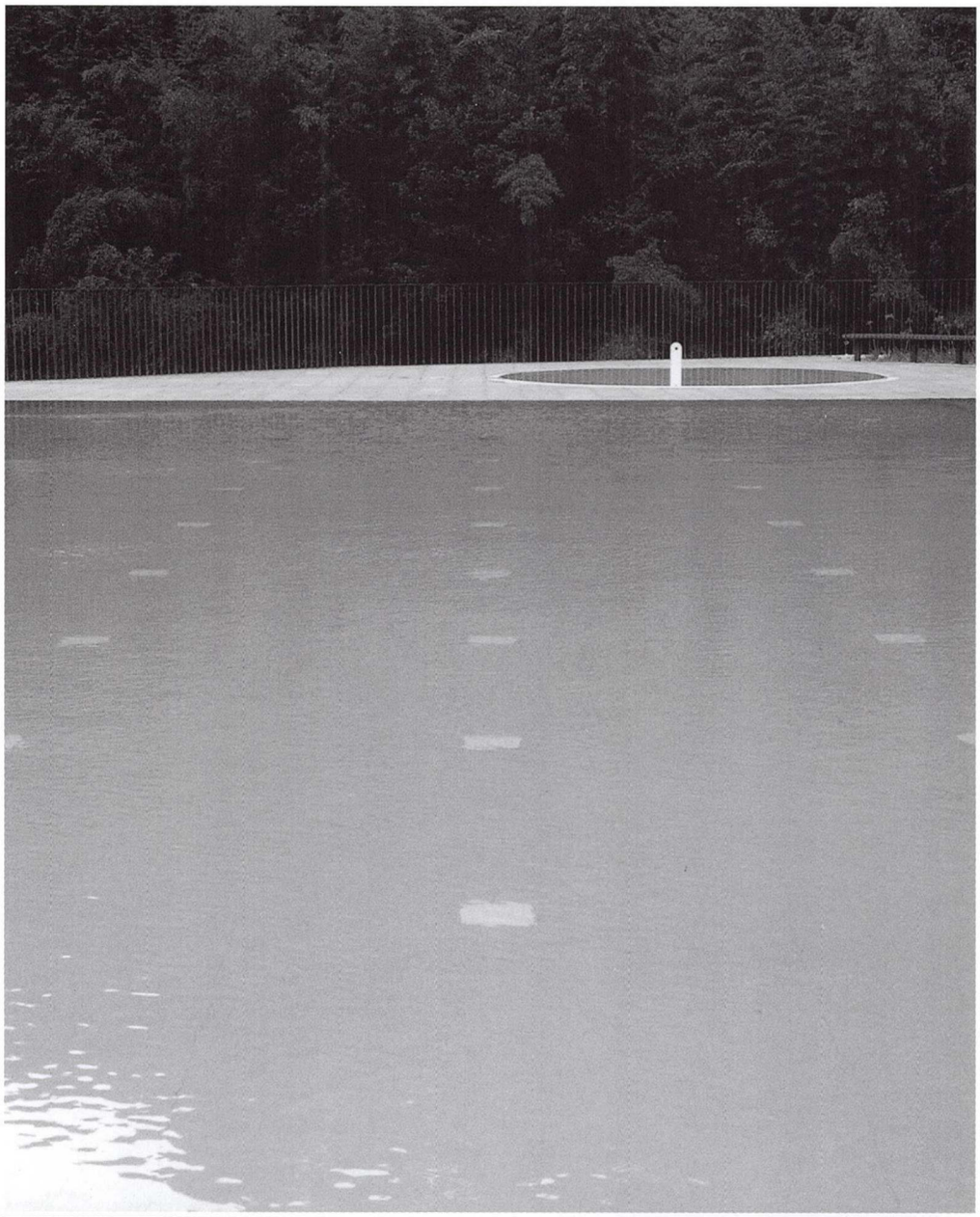
（村上幸三郎）

■商船三井ビルディング・ライトアップ

所在地　神戸市中央区海岸通5
施　工　大林組神戸支店
企　画　商船三井
　　神戸21世紀・復興記念事業
　　ライトスケープフェア2001実行委員会
照明デザイン　村上デザイン事務所
竣　工　2002年３月
撮　影　村上　章

身近にあるリゾート

吉武宗平　ヘッズ







山間の小さな集落に位置する村民のためのプールである。主に小学校教育用として利用され、夏休みには一般村民にも開放される。

簡潔にデザインされた施設と対照させながら、周囲の山や畑の緑、石垣、家並みなどの集落景観をダイレクトに取り込み、ふるさとの風景を再認識できるようなランドスケープを試みた。

更衣・管理棟の前面は軒を大きく張り出して大きな日陰をつくり、またプールサイドには木陰の落ちるデッキチェアをおいて、プールでの時間をゆっくりとくつろいでもらえる仕掛けとした。

水遊びを楽しむ親と子、付き添いのおじいちゃんやおばあちゃん、散歩がてらのご近所の人まで、みんなが集える夏のリゾートになればと願う。

（吉武宗平）

■西吉野村民プール

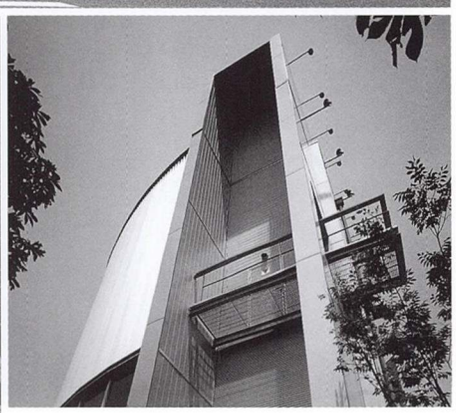
所在地　奈良県吉野郡西吉野村大字屋那瀬231
施　工　鍛冶田工務店
敷地面積　1,411.48㎡
建築面積　128.76㎡
延床面積　111.00㎡
構造規模　更衣・管理棟：型枠コンクリートブロック造一部木造平屋建
プール：ステンレス鋼板全溶接製プール　アクリルウレタン塗装仕上げ
竣　工　2001年7月
撮　影　吉武宗平

建築とサインの融合

岩下博美・小島富士夫　大林組本店一級建築士事務所







当建物は、引越しの最大手であるアートコーポレーションによって、東京都内主要道路の交差点に面して計画された。

『建物は企業イメージを表すサインである』というコンセプトに基づいて、シルバーを基調としたオシャレなデザインとすると共に、交差点に立つ立地を最大限に生かし、「建築」そのものを「サイン」とする事によって、交差点に向けて強いインパクトを持った企業の顔を創り出しています。

また本来、「建築物」に付加される「広告塔」をポジティブな要素として一体的にデザインし、建築とサインの融合表現も試みました。

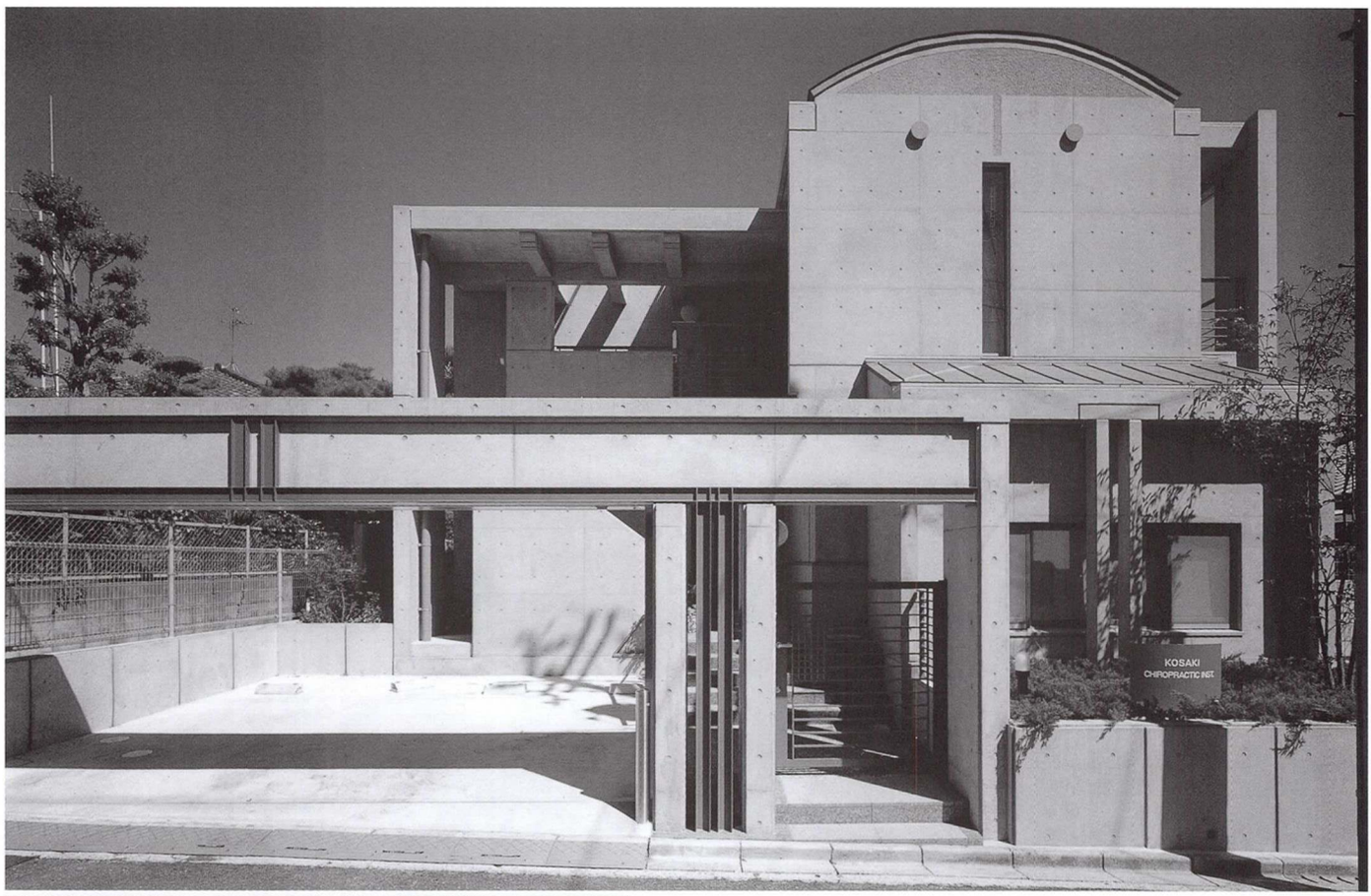
（岩下博美）

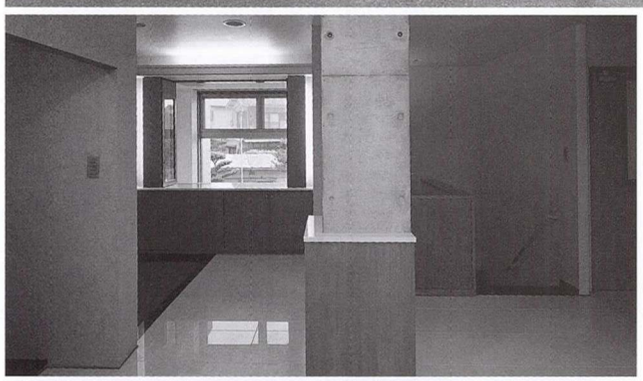
■アートコーポレーション㈱東京北支店

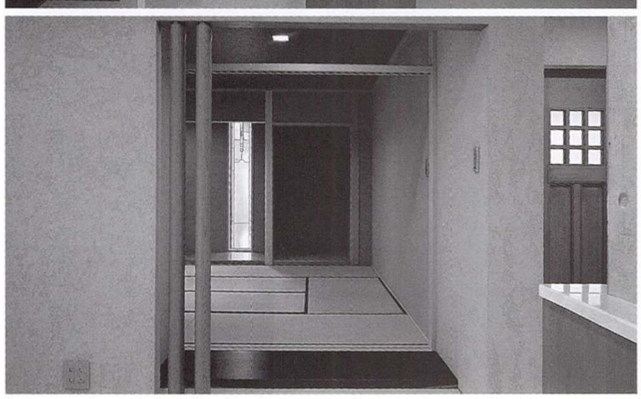
所 在 地　東京都練馬区高松3-5
施　　工　大林組
敷地面積　1,609.25㎡
建築面積　1,286.66㎡
延床面積　2,723.29㎡
構造規模　S、3F
竣　　工　2002年３月
撮　　影　クドウフォト・許斐信一郎

陰翳禮讃

浅野　裕　建築計画A&A 浅野設計室







既存の分譲地内にある、1階にカイロプラクティックの診療所を併設する住宅である。コンクリート打放しの外壁と金属のボールト屋根を基本に、トップライトのある屋外階段・H型鋼とコンクリートを組み合わせたシャッターのフレームで陰影の有る外観を構成した。
内部の空間構成、素材、ディテールの決定については、住宅としての快適さを測るのに、便利か不便か以外の尺度にもてらしながらの建築主との共同作業となったが、竣工後にそれが正しい選択であったことを双方で確認できた。
尚、正面のステンドグラスは、高嶋敏昭氏の作による。

（浅野　裕）

■南平台の家

所 在 地　大阪府高槻市南平台2-32-6
施　　工　藤木工務店
敷地面積　250.79㎡
建築面積　122.05㎡
延床面積　225.80㎡
構造規模　RC、2F
竣　　工　2001年5月
撮　　影　エスエス大阪・藤　義則

街に立体的な緑の場を

新居照和&ヴァサンティ　新居建築研究所







敷地は、古い民家や商家があちこちに残る松本城下町を横切る国道に面する。旧街道が国道となった幅員7.5mの歩道のない通りで、車の往来が激しい。課題のひとつは、界隈の人々に如何なる街路空間を提供できるかであった。

鉄骨造の住居併用店舗ビルで、ALC板、ケイカル板、ガルバリウム鋼板などの手頃な建材だけに絞る必要があった。

一、二階は貸し店舗を含めた飲食店、三階は建築主の住居となる。二階まで吹き抜ける小広場を設け、一階から三階まで街路に対して様々な視線が通う表情を試みる。二階、三階の外部の床は杉赤み板のテラスで覆う。三階住居部の床面は外部床と同面にする。居室群を変化のある集落のように配置した中庭型住居で、空と街路側に大きく開いた。光が入り、風が通るばかりでなく、周りのアルプスの山々や大空に面し、新旧様々な家屋とその生活のつながりや佇まいも意識さす。

未実現だが、街路空間に四季や時の変化を映し出す樹木を、こうした場所の中心に位置付けた。等身大以上のスケールで緑が生育し、緑の下で生活があるという感覚を育めることを願っている。

（新居照和&ヴァサンティ）

■松本市街地小規模ビル
（住居店舗併用ビル）

所 在 地　長野県松本市大手4
施　　工　北建
敷地面積　240.30㎡
建築面積　181.20㎡
延床面積　395.70㎡
構造規模　S、3F
竣　　工　2002年７月

550年以上を継承して―

長瀬博一　長瀬建築研究所









日本を代表する祇園祭の山の一つ「鈴鹿山」の収蔵、展示の場であり、御神体を御祀りする場所として建替えられた。遠く550年余りにも及ぶ御祭の歴史的伝統を伝えるべく京町家と土蔵を踏まえた意匠とした。市内中心部にあり、山鉾32基中唯一の角地という場所性を生かし

①文化財収納機能を重視する余り、都市に対し閉鎖的になりすぎぬよう、外観２面が程良く都市に開示され、祭時にはテンポラリーミュージアムともなるように。

②今まで、通り抜け出来ぬ建て方で北側道路に閉鎖的だった状態を改め２方道路を生かした廻遊性に富む露地空間を形成した。

③日本的空間特有の奥性を生かし敷地最奥部に地蔵堂と御神体を配した。

④１階上部には通り庇、ガラス庇、付庇を廻しヒューマンスケールで寄りつきの良さを持つ結構を企った。

⑤防火地域の旦中、現行法規の枠内で木の表現をどこまで出来るかを試みた。

（長瀬博一）

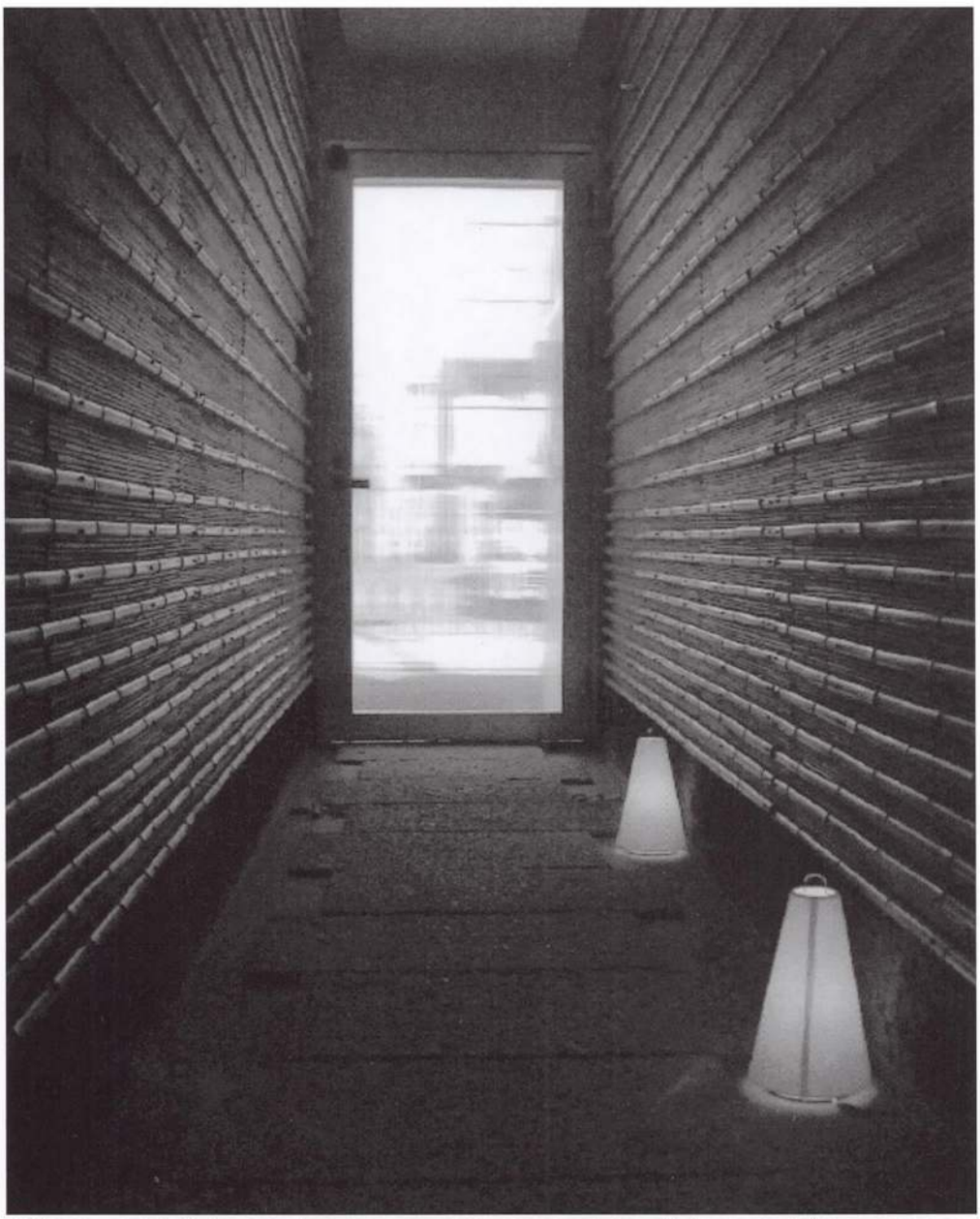


■鈴鹿山新収蔵庫

所在地　京都市中京区烏丸通三条上る場之町588-1
施　工　安井杢工務店
敷地面積　82.41㎡
建築面積　40.02㎡
延床面積　64.45㎡
構造規模　S、2F
竣　工　2002年６月
撮　影　奥田興作

露地でつなぐハレとケ

八木康夫+八木圭子　ATELIER TIKAZO一級建築士事務所









この住宅は京都の古い町並みの面影が残る地域にある、間口2.8間、奥行8.2間の敷地に計画された。前面道路は呉服関係の営業車や人の往来が多く日中はかなり騒がしい。この喧噪を遠ざけ、住まいとしての静けさを確保するために「露地」をしつらえ、その奥に玄関ホールを設けた。そこに3層吹抜けのトップライトから光を取り込むことにより、「はんなりとした」空間が広がった。
ファサードは、町屋を意識して竪の格子を用いたが、メンテナンス性を考慮してアルミ角パイプの取り外し可能な構法とした。

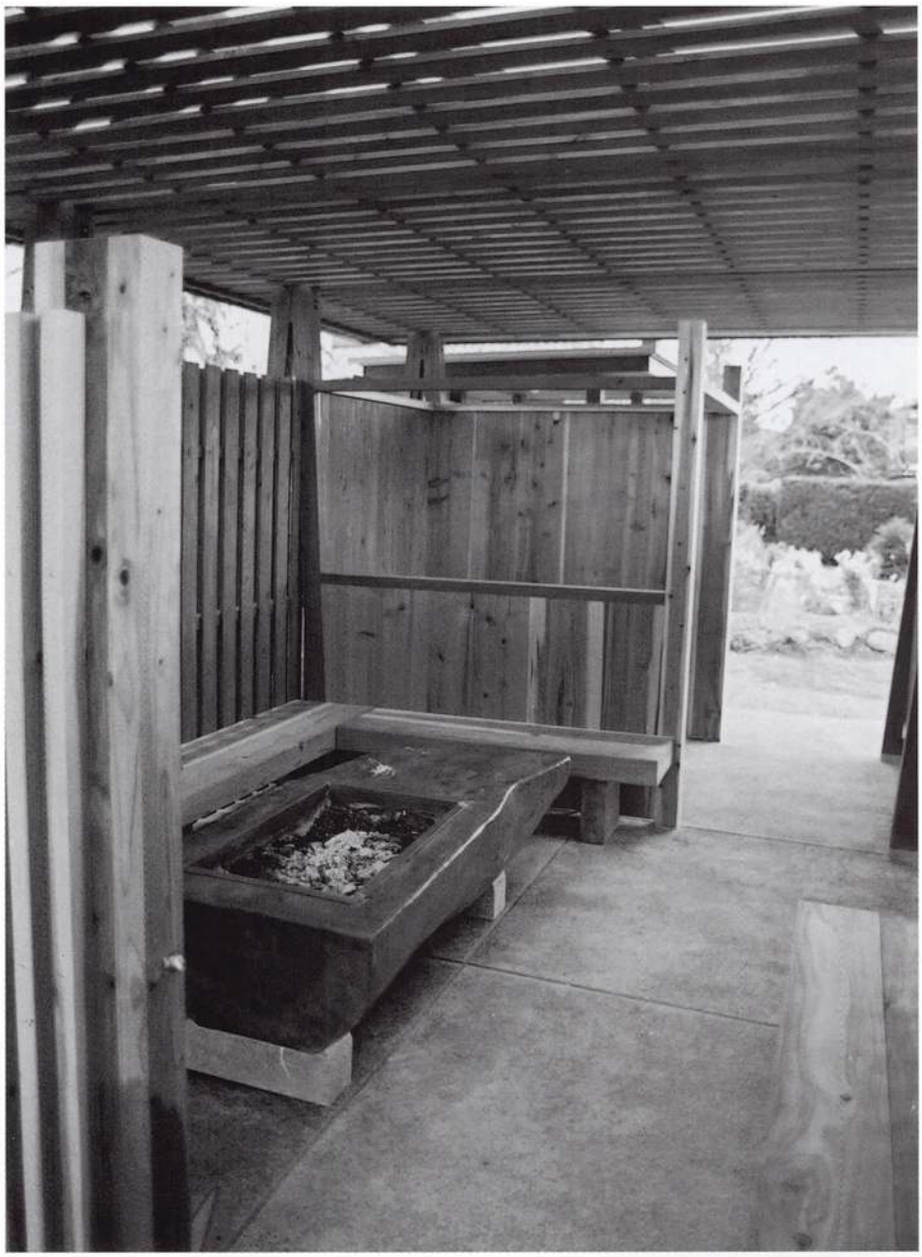
（八木康夫）

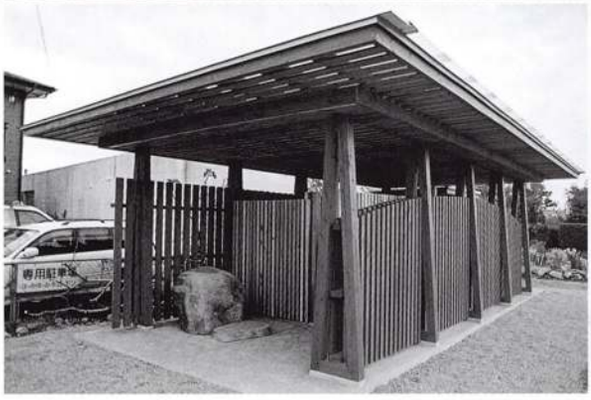
■G-HOUSE

所 在 地　京都市下京区
施　　工　八木乃工芸十幸来建設
敷地面積　75.57㎡
建築面積　57.75㎡
延床面積　162.17㎡
構造規模　W、3F
竣　　工　2002年3月
撮　　影　八木圭子

「支え合い」文化を体現

歌　一洋　歌一洋建築研究所







(＊)

空海の開創とされる「四国八十八ヶ所」がある。四国全域の遍路道(1,400キロ）に歩き遍路のための「休憩・仮眠する小屋」を89ヶ所、ボランティアで創るプロジェクト。これは第一号のヘンロ小屋と第三号である。昨年末から４棟が完成した。支えあいの精神、祈りのシステムを体現した世界にも稀な遍路文化の発展を願って、今後10年から15年かけて地域の方々と共に創ってゆく予定。

（歌　一洋）

■四国88ヶ所ヘンロ小屋プロジェクト

ヘンロ小屋香峰

所 在 地　徳島県海部郡海南町
施　　工　歌　一洋
敷地面積　240.00㎡
建築面積　19.80㎡
延床面積　19.80㎡
構造規模　木造平屋
竣　　工　2001年12月

ヘンロ小屋阿瀬比（写真＊印）

所 在 地　徳島県阿南市阿瀬比町西内
施　　工　歌　一洋
敷地面積　8.45㎡
建築面積　7.04㎡
延床面積　7.04㎡
構造規模　木造平屋
竣　　工　2002年４月

撮　　影　歌　一洋

旧香雪記念病院の再生

塚口明洋　塚口明洋建築研究室+塚口眞佐子







この建物は、昭和42年に竹中工務店設計施工によって完成した当時の最先端をいった病院建築の再生です。設備・仕上の老朽化のため、病院施設として機能的に対応できなくなり閉鎖されていたところを西宮協立脳神経外科病院がリハビリテーション病院として再生利用することになりました。

再生設計にあたり、外観、躯体のできるかぎりの保存を計りながら、機能的な更新のための新しい空間づくりを考えました。今回の改装によって、この建物がまた力を復帰して、今後長く使われることが最大の喜びです。建物が生き残るためには、旧オーナーと新オーナー双方の建物に対する愛着と尊敬の念が大切であることを感じました。

たまたま香雪記念病院竣工当時の掲載誌1967.12月号を見ていると、ライト設計の帝国ホテルが写真入りで出ていました。取り壊しが決まったことに対する抗議の文章が多数出ていました。帝国ホテルは1922年完成ですから55年の寿命は建築として短いのか長いのか考えさせられました。

（塚口明洋＋塚口眞佐子）

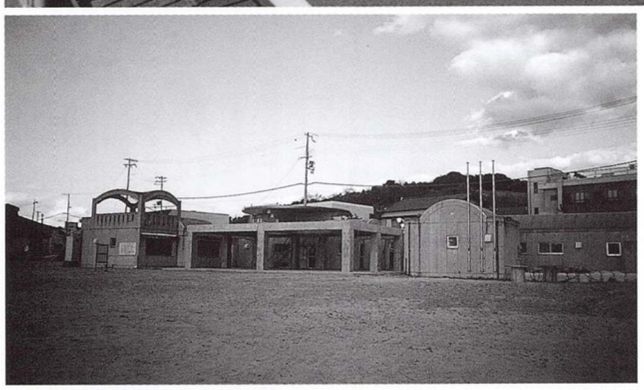
■西宮協立リハビリテーション病院

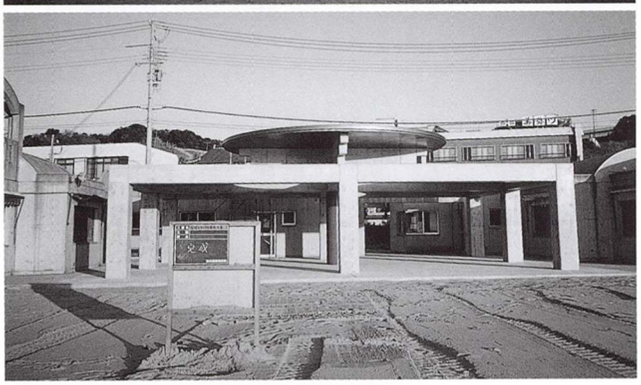
所在地　西宮市鷲林寺南町2-3
施　工　川口建設・新井組
敷地面積　15,494.20㎡
建築面積　1,115.22㎡
延床面積　7,299.45㎡
構造規模　6F、B1F
竣　工　2002年３月
撮　影　納村達夫

風景に参加する

上谷重男　U建築企画室







風景は意識して初めて存在すると言える。意識しない風景は単なる自然の一現象に過ぎない。瀬戸内の風景は穏やかで、明るく、青空はどこまでも続く。その瀬戸内海に浮かぶ淡路島は単調な船旅の人々の心を和ませてくれる。
この和やかな淡路島の丘陵地の緑を背景に持つ砂浜に、そっと小さな、小さな集落を創り、置きたい。
青空、緑の丘陵地、砂浜、そして海の碧、その風景に参加出来る小さな集落でありたい。
集落中心に浮かぶシルバーに輝く円盤は沖を通過する舟旅人への、北淡町の震災のメッセージでありたい。
（上谷重男）

■北淡町室津ビーチハウス整備

所 在 地　兵庫県北淡町室津
施　　工　志田建設工業
敷地面積　2,041.00㎡
建築面積　393.11㎡
延床面積　393.11㎡
構造規模　RC、1F
竣　　工　2001年３月
撮　　影　U建築企画室

音楽室のある住まい

岩本貞幸　岩本貞幸建築研究所





この住宅は奈良市学園前の閑静な住宅地の中にある。容積率や建ぺい率、壁面後退など法的制約も厳しい地区であるが、この中で施主要求は、ご両親の同居と子供２人を含む相互に完全に独立した２世帯住居と、ヴァイオリニストである奥様のレッスン室の確保という空間ヴォリューム的に相当厳しいものだった。

しかも250㎡の敷地内で２台の駐車スペースを確保しなければならず、基本計画は、まずこれら多くの空間的要素をいかに合理的にこの敷地内に納めるかということであった。

このため音楽レッスン室を地下に計画して法的容積緩和を利用するなど、これしか考えられないという合理的な空間構成案をまず考え、あとはデザイン的に処理を加えた。

経済的な観点から構造は総２階の建物に一部下屋が付属するという、単純明解なものとしている。意匠的にはもう少し実現したいこともあったが、多くの空間的要求をRC造で経済的に実現できたことに、建築家として一抹の自負の感を抱いている。また、この閑静な町並に一つの品性を醸しだす建築になったものと確信している。

（岩本貞幸）

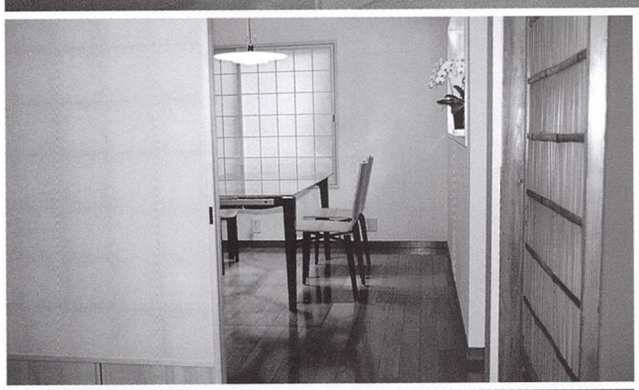
■奈良・学園前の家

所 在 地　奈良市西千代ヶ丘
施　　工　仲川組
敷地面積　250.00㎡
建築面積　102.81㎡
延床面積　149.98㎡
構造規模　RC、B1F、2F
竣　　工　2001年７月
撮　　影　フォトはなおか

繋がり

森川哲治　日創設計







大阪市内にあるこの建物は、戦後まもなく建てられた築50年ほどの木造２階建て住宅である。
今計画は、使い勝手の悪いキッチンと家族団欒の場としての茶の間の全面改修とその他の改装である。
薄暗い空間であった中廊下を取り込みスペースを広げた上で、茶の間をリビング兼用のダイニングとし、空間の繋がりを持たせるうえで独立型キッチンを対面式キッチンにプラン変更した。
改修工事は着工しないと分からないところが多分にあるが、今工事においても構造上撤去出来る柱、壁の判別、地盤の緩みによる床、壁、建具の傾斜補正、また、既存取り合い部の納まりや既存室内空間との繋がりをどのように違和感なく調和させるかが課題であった。
12坪足らずの改修ではあったが、新築とはまた違う感動と達成感を得ることができ今後も挑戦していきたいと思っている。　（森川哲治）

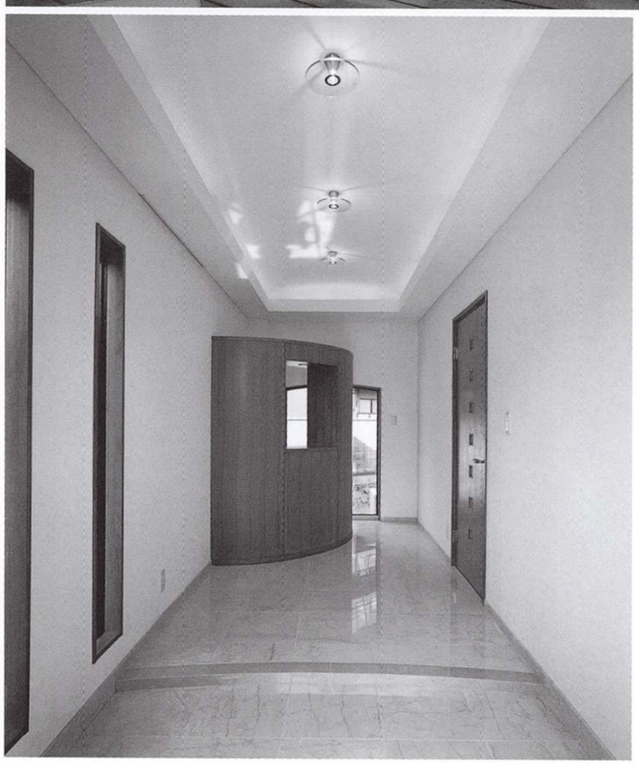
■玉津の家

所 在 地　大阪市東成区玉津
施　　工　布施工務店
改修面積　37.57㎡
構造規模　W、2F
竣　　工　2002年８月
撮　　影　森川哲治

もてなしの空間

杉本真一　大阪芸術大学助教授





ハウスメーカーによる新築間もない堂々とした住宅が、先の大震災によって全壊した。広い跡地には二世帯住宅を建てるべく計画が進められたが、最終的に別棟とすることになった。先に竣工したこの住宅は、子世帯の住まいであり、西隣には親世帯の住宅が予定されている。多い来客に十分に対応できるプランが求められ、来客と施主家族の動線を明確に分けることが平面計画の基本となった。西側に来客用の玄関、応接室等の接待空間を、そして東側に家族用玄関、リビング等を配置し、両空間をガラス張りのコートヤードで繋いだ。急な来客も安心して迎えることができ、また来客数に応じていくつかのパターンに部屋の繋がりを変えることができるようにした。

（杉本真一）

■西宮の住宅

所 在 地　兵庫県西宮市
施　　工　シンエイ
敷地面積　1,240㎡
建築面積　133.93㎡
延床面積　208.85㎡
構造規模　S、2F
竣　　工　2001年11月
撮　　影　杉本真一、三宅浩司

和の心で街角をつづる

田中直人　田中直人+NATS環境デザインネットワーク





西神ニュータウンの開発に伴い、周辺地域の伊川谷駅周辺地域も大きく変貌を遂げようとしている。国宝大山寺に近く、研究学園都市をはじめ明石などの市街地に近いこともあり、老若男女の多くの乗降客のターミナルとしての駅前広場計画が進められた。ふるさとのまちづくり事業の顔として、当初のバス案内所に加え、将来の多目的トイレ２箇所を含む、高齢者をはじめとする利用者の休憩所として、計画した。和風の３連の切妻屋根をスライドさせた中央の通りぬけ空間は広場へのゲートとして、また街角に開かれたランドマークとなることを意図している。光とみどりの織り成す和風のきらめきを演出させるために竹や笹を植えると共に、シンボルツリーとしてのケヤキを配している。新たな田園都市のランドスケープデザインの試みの１つである。

（田中直人）

■伊川谷駅前広場案内所

所在地　神戸市西区伊川谷西上脇字西河原2-1
施　工　橋本建設
敷地面積　547.79㎡
建築面積　72.85㎡
延床面積　72.85㎡
構造規模　RC、1F
竣　工　2001年７月
撮　影　伊藤　彰

壁面にタペストリーを

植松曄子　大阪産業大学工学部環境デザイン学科教授







1998年７月竣工した（株）大林組名古屋支店新社屋内10階食堂の巾5.7m・高さ４mの壁面に、織巾2.4m・織丈3.6mのタペストリーをデザイン、制作し設置しました。

無機質な壁面空間に、生成りの麻糸を素材にして、平織り、ループ織りの織った部分と縦糸だけの部分でパターンを表現しました。壁面から５cm程離して吊しているためにライティングにより壁面に影を映し、いろいろな表情が楽しめます。

（植松曄子）

■(株)大林組名古屋支店

所在地　名古屋市東区
素　材　麻糸生成り
設　置　1998年８月
撮　影　植松曄子

建築基準法の改正

納谷浩一
大阪府建築都市部建築指導室審査指導課総括主査

建築基準法等の改正については、平成14年１月の社会資本整備審議会の答申（以下、「答申」という）を受け、居住環境の改善、適正な土地利用の促進等に資する合理的・機動的な建築・都市計画制限を行うため、建築物の形態規制の合理化、地区計画等の見直し、シックハウス対策のための規制の導入等を主要な内容とし、本年７月12日に公布された。

形態制限に係る制限事項とその選択肢の拡大

形態制限については、答申において「住宅や事務所等の一人当たりの床面積拡大等にも配慮」「地域の土地利用の状況等を勘案」「地区の特性に応じた多様な要請に対応」などにより、用途地域に連動した一律規制ではなく複数の選択肢を設けることが必要であると提言された。

これを受け、指定容積率の数値については、第１種・第２種中高層住居専用地域では400%、500%、第１種・第２種・準住居地域、近隣商業地域、準工業地域では100%、150%、500%、工業・工業専用地域では100%、150%、商業地域では1100%、1200%、1300%の各メニューが追加された。併せて、前面道路幅員による低減係数について特定行政庁が都市計画審議会の議を経た上で、住居系用途地域で0.6、その他用途地域で0.8を指定することが可能となった。

また指定建ぺい率の数値については、第１種・第２種・準住居地域、準工業地域では50%、80%、近隣商業地域では60%、工業地域では50%の各メニューが追加された。

道路斜線制限については、一部を除く住居系用途地域で1.5の勾配を、隣地斜線制限については、勾配2.5及び立ち上げ高さ31mを、住居系以外の用途地域では適用除外を、それぞれ特定行政庁が都市計画審議会の議を経て指定することが可能となった。さらに日影規制の測定面については、現行４mに加えて３階窓面に相当する6.5mが加えられた。

敷地規模制限については、従来第１種・第２種低層住居専用地域のみで指定できたものが、その他の用途地域においても指定することができるようになった。(200㎡以下)

形態制限の適用方法の合理化

斜線制限の合理的適用という観点では「採光等の市街地環境を確保する制限の本来の趣旨に立ち戻り、一般的な斜線制限と同程度の採光等を確保する建築物に対して、これを適用しないこととする措置を検討すべきである」と提言された。

これを受け、現行の仕様規定型の制限に対して、性能規定的な考え方を導入し、計画建築物により確保される採光・通風等が現行の制限により確保されるそれと比して当該敷地単位で同程度以上である場合、斜線制限を適用しないこととする旨の改正が行われた。なお、政令により「天空率」により比較するということ、その測定点の具体的な位置などが定められる予定である。

容積率制限の適用については「建築物と公共施設への負荷とのバランスの確保が目的のひとつであることから、（中略）先ず住宅用途を他の用途と区分した上で、容積率制限の適用方法に差を設ける等の対応を検討すべきである。この場合このような適用方法を採用することが合理的と考えられる区域において導入することを検討すべきである」と提言され、また今般の都市再生の進捗を図る上で、民間事業者によるプロジェクトの負担を軽減し、その円滑な実施を確保するため、容積率制限の緩和措置に係る事前明示性の確保、手続きの迅速化・簡便化を図ることも求められている。

そこで、容積率の制限緩和に係る特例許可の際の審査の方法や合理化の程度の判断等に関する方針のうち、定型化できるものを一般的な基準として定め、これをもとに許可を経ずとも一定の範囲内で緩和を行えるような規定が設けられた。具体的には第１種・第２種・準住居地域、近隣商業地域、商業地域及び準工業地域内にある住宅系の建築物について、政令で定められる敷地規模、空地規模等の一定条件を満足する場合には、建築確認手続きによって指定容積率の1.5倍(住宅の床面積の割合により低減される)の範囲内で、容積率の緩和が受けられるという新たな規定が設けられることとなった。

ただし特定行政庁が地域の実状を踏まえて、都市計画審議会の議を経て、適用除外区域の指定、容積率緩和の上限値の設定を行うことができる規定も併せて設けられている。

民間事業者の負担を軽減するということについては、複数棟からなる開発プロジェクトを円滑・迅速に実現するため、総合設計制度と一団地の認定制度との申請手続きを一本化した規定も併せて設けられた。

地区計画制度については、答申を受け規定の整理統合が行われた。

なお、以上の法施行は公布後６カ月以内となっている。(下記のシックハウス関連については１年以内)

シックハウス対策について

シックハウス対策については、「化学物質の室内濃度を厚生労働省の指針値以下に抑制するため、通常必要な建築材料、換気設備等に対する構造基準を定めるべきである」との答申を受け、居室について、クロルピリホス発散の恐れのある建築材料の使用禁止、ホルムアルデヒド発散の恐れのある建築材料の使用制限等を行うとともに、気密性の低い在来木造住宅等を除き、換気設備設置の義務付けがなされるとのことであるが、詳細は政令等に委ねられることになる。

おわりに

以上、法改正の内容を羅列するにとどまったが、住宅系建築物の容積率緩和条項の適用に際しては、一般規定（除外区域の指定を行わなければ、自動的に容積率緩和が適用される）としての法の趣旨を踏まえながらも、特定行政庁が地域の実状やまちづくりの考え方などをよりどころとして、適用除外区域や緩和上限値を慎重に指定していく必要があると考えている。

指定容積率・建ぺい率のメニューが追加され、また斜線の勾配など特定行政庁が選択的に指定できるといった条項も設けられたことから、地域のまちづくりのニーズに即した形で多様な制限を行うことが、条文上はできるようになった。

今後、これらを具体的にどう運用していくのか、特定行政庁をはじめ地方公共団体の役割はますます重要になってくると思われる。

（なや　こういち）

圧密沈下を考慮した性能設計への取り組み

平川恭章　大堀太志
㈱竹中工務店大阪本店設計部

建物は沈下してはいけないのか。軟弱地盤では杭が必要なのか。そんな疑問を抱きながら、われわれは設計を行っている。

建物の設計に影響する沈下とは何だろうか。沈下量には傾斜沈下量や絶対沈下量、相対沈下量があり、また沈下の種類には、施工中に完了する即時沈下や長期にわたって継続的に増加する圧密沈下がある。われわれ設計者は使用上問題となる沈下量を精度良く予測し、その沈下量を考慮して設計することが大切である。

竹中工務店では長年にわたって沈下の予測と実証を行っており、その実績を背景に、筆者らは「圧密沈下を考慮した性能設計」に取り組んでいる。本稿ではその一例を紹介する。

絶対沈下量の予測と確認

図1の建物Aの下部にある沖積粘土層はサンドドレーンで地盤改良されており、沈下観測開始時において一次圧密が終了段階にあった。この時の土質試験結果を用いて、表1に示す3つの方法で圧密沈下量を計算し、沈下観測結果との比較を図2に示す。

圧密降伏応力より小さい荷重で、正規圧密領域のクリープが発生したという実験結果が報告されたことからも、このような地盤においては、③の方法は、①や②の方法より圧密沈下計算に適した方法であると言える。

相対沈下量の予測と建物の設計

本稿で紹介する設計例は図1の建物Bで、六甲アイランド南端に建設されるRC造5階建ての倉庫である。当該敷地の沖積粘土は圧密沈下が進行中であるため、杭を有する建物では、周辺地盤とのギャップが問題となっている。そこで本建物の基礎形式として、沈下に対して建物の性能を満足する最良の選択は、杭ではなく直接基礎であると判断した。

本建物の基礎伏図と接地圧分布を図3に示す。接地圧は最大196 kN/㎡となっている。

当該敷地の地盤構成は図4に示すように、GL−20mまでN値=10前後の粘土質砂礫、GL−20〜38mまでN値=3程度の粘土層、その下層はN値=40程度の締まった砂層である。

建物の相対沈下量を予測する場合、建物や地盤の剛性を考慮する必要があるため、表1の②の方法を用いた。建物中央の相対沈下量予測値は経過時間50年で1.15㎝（部材角1.3×10^{-3}rad）でほぼ収束し、基礎構造設計指針に示される相対沈下量の限界値（3㎝）または部材角の限界値（1.5×10^{-3}rad）以下である。また絶対沈下量は約200㎝と予測される。

まとめ

設計者は、安易に杭を設けるのではなく、建物の性能を満足することの重要性を認識するべきである。また、沈下量を地盤の特性を把握して精度良く予測し、沈下変形を取り込んだ性能設計を行うことが求められている。

本稿は、㈱竹中工務店設計部におけるこれまでの「圧密沈下を考慮した性能設計への取り組み」を総括し、今後の方向性を示唆するものである。関係者に深く感謝致します。

（ひらかわ　きよあき／おおほり　ふとし）

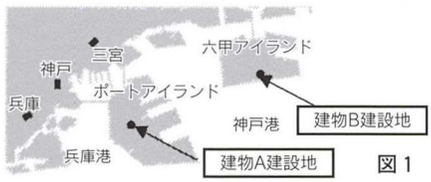
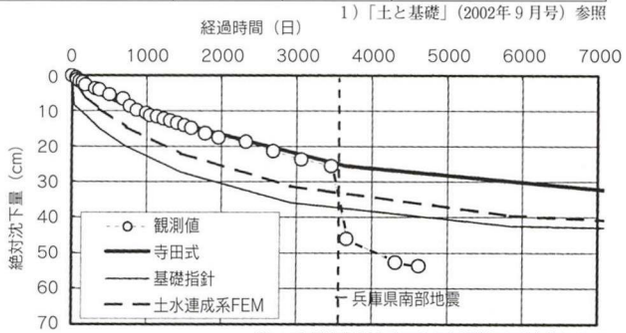


図1　建設地

表1　解析方法による違い

解析方法	荷重分布	建物剛性	クリープ
①基礎指針	平面載荷	無視	一次圧密後発生
②土水連成系FEM	線状載荷	考慮	一次圧密後発生
③寺田式[1)]	平面載荷	無視	一次圧密と独立に発生

1）「土と基礎」（2002年9月号）参照



注：兵庫県南部地震により観測値が不連続となる

図2　建物Aの絶対沈下量比較

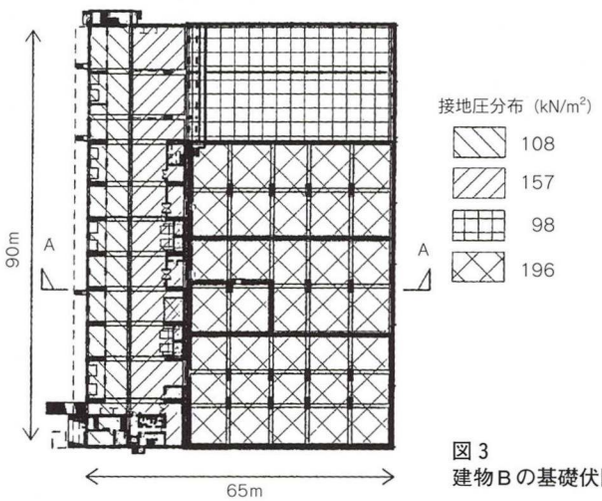


図3
建物Bの基礎伏図

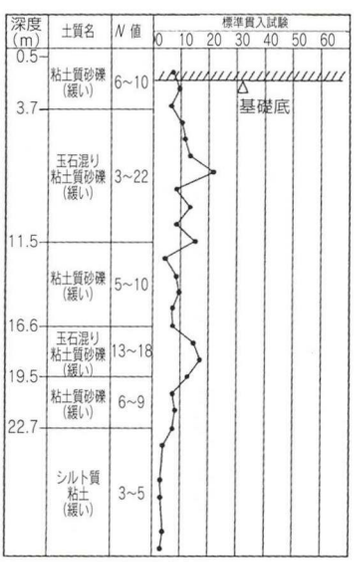


図4　土質柱状図

家電リサイクルの実情と課題
―「商品から商品へ」を基本コンセプトに―

堤　常固
㈱松下エコテクノロジーセンター取締役社長

廃棄物の適正な処理及び、資源の有効な利用の確保を図りつつ、生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与することを目的として、「家電リサイクル法」が本格施行され１年余。家電業界は、小売業者らから廃家電を引き取るための指定引取場所を全国に380カ所準備し、リサイクルの処理プラントも40カ所稼動している。2001年度全国の処理実績は対象４品目（テレビ・エアコン・洗濯機・冷蔵庫）で約855万台（引取台数／経産省公表）。

マテリアルリサイクルを追求する実証・実験型工場

当社（以降METECと呼ぶ）は、法に基づく再商品化の実施にとどまらず、「商品から商品へ」戻すことを基本にしている。マテリアルリサイクルの技術開発と実証も重要な責務である。

リサイクルしやすい商品設計はどうあるべきか、リサイクルしやすい素材は何かを情報として発信する。設計段階からリサイクル率の向上や環境負荷の低減、また素材の効率的な使用などを現場と一体となって開発・実証するＲ＆Ｄ部門を併設している。

また、処理プラントは４つの品目別のライン構成とし、製品の設計者に実際に解体ラインに入ってもらい、自らの商品がどうリサイクルされるのか、何が課題なのか体験の中から解体しやすい製品を発想してもらう試みにも取り組んでいる。

４品目のリサイクルポイント

①テレビライン　重量の57%を占めるブラウン管ガラスの再利用がポイント。前面部と後面部に高精度に分割し純度の高いガラスを取り出し、カレット化し、再びブラウン管に戻す。そのための分割機や洗浄機は独自に開発している。

②洗濯機ライン　樹脂の中でも使用量の多いポリプロピレン（PP）の選別回収と再利用がポイント。比重の違いを利用した『渦潮水流選別技術』の開発によって混合プラスチックから高純度のPPを回収、洗濯機の台枠に再利用している。



③エアコンライン　構成比率の高い金属類を高純度に回収することと、冷媒フロンの回収がポイント。熱交換器から銅・アルミを高純度に回収するシステムや、堅牢なコンプレッサーを常温で破砕するプラントは世界でもめずらしい設備。

④冷蔵庫ライン　プラスチックの再利用、冷媒フロンの回収がポイント。庫内部品は、単素材のプラスチックが多いので回収し再利用。断熱材フロンは法に先駆けて回収、処理している。ウレタンフォームは断熱材等に再利用している。

緑に囲まれたアメニティ工場のこの１年

「クリーンファクトリー」を目指し破砕音を防ぐ、粉塵を防ぐ、防振装置の設置、水や空気を汚さない建屋設計で環境に配慮している。また、近隣住民の代表者・学識経験者・自治体からなる「環境保全協議会」を設置し、施設の環境保全状況・取り組みを定期的に公表・確認いただく体制を整え、地域との共存を図っている。

さらには「常設のリサイクル展示場」として、住民、小中学生等の“環境教育の場”として広く施設を公開し、2001年度には約１万人のご見学をいただく。

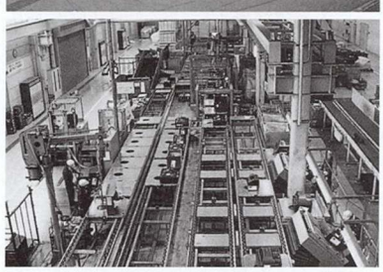
20世紀の「大量生産→大量消費→大量廃棄」の社会システムから脱却し、「作る→使う→戻す→生かす」の循環型経済社会システムの構築こそが「環境の21世紀」のあり方と言える。

「家電リサイクル法」の実施はその一環であり、その取り組みはまだ緒についたばかり。ブラウン管ガラスの資源化が世界で最も高水準にある一方で、鉄に次ぐ家電製品の主要な材料であるプラスチックのほとんどはゴミとなっている。今後、より高いリサイクル率を確保するには、この廃プラスチックの選別回収・再利用の両面での技術開発がカギとなる。さらには、リサイクルコストの低減等々、課題は山積。こうした課題解決への英知と情熱が環境と経済を両立させることになるものと考えている。

最後に、「明るく、快適な空間づくり」をテーマに当施設の設計・施工をしていただいた㈱安井建築設計事務所、㈱鴻池組・㈱錢高組の皆様に改めて感謝申し上げる。

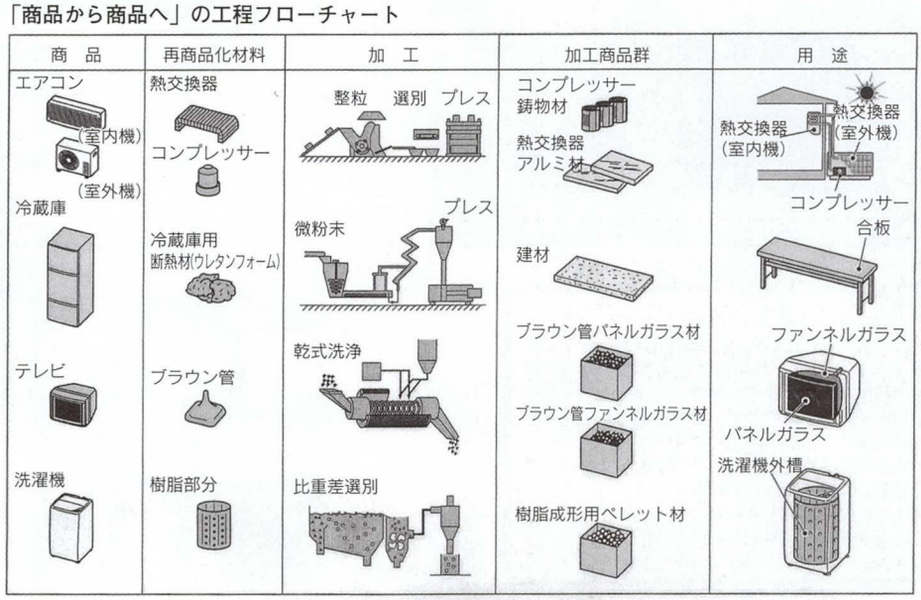
（つつみ　のぶたか）





松下テクノロジーセンター
- 所在地：兵庫県加東郡社町佐保50番地
- 敷地面積：38,570㎡
- 建屋延床面積：12,760㎡（A・Bの２棟構成）
- 処理台数実績：使用済みテレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫約56万台／2001年（最大能力約100万台／年間）
- 事業開始：2001年４月１日（操業開始４月２日）

「商品から商品へ」の工程フローチャート



研究を最前線で追う

11 交通騒音制御と新型遮音壁

音響環境学講座・藤原研究室
九州芸術工科大学音響設計学科

近年、高速道路、主要幹線道路沿線での交通騒音は日増しに大きくなり、音環境として重大な問題となってきている。また高速鉄道においては国際競争という拍車もかかりスピードアップが図られ、それによる騒音が問題となってきている。

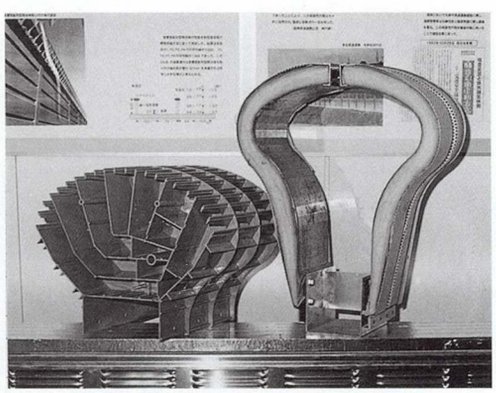
このような道路交通騒音や鉄道騒音の状況を緩和し、環境基準を満たすために用いられるもっとも簡便な手段は、遮音壁である。遮音壁の性能は、基本的にはその高さが高いほうが大きく、現在では8mもの高さを持つ遮音壁が数十kmにもわたって建設されているところもある。さらに現在計画中の第2東名神高速道路で一部建設されている遮音壁は垂直部高さ約9m、内側への傾斜部分約6m、断面長計14mにも及ぶ防音壁である。このような遮音壁が沿線すべてに建設されるわけではないであろうが、総延長600kmにも及ぶ高速道路の主要部分だけでも相当な距離になるものと予想される。またこのような高さの遮音壁は材料経費のみならず、対風荷重に耐えるように非常に大きな構造となり、建設費用も本来の道路部分建設費に匹敵するようになってきている。そこで近年、遮音壁の高さは低くても遮音性能の高い遮音壁に期待が高まってきた。私が25年も前に遮音壁の性能を向上するために開発した吸音性円筒エッジの研究成果も実用化され、ここ4～5年において高速道路沿線に積極的に取り付け始められている。

私の研究室ではこのような新型遮音壁開発に多年の年月を費やしてきており、ここではその一部を紹介する。

吸音性円筒状エッジを持つ遮音壁

前述のとおり、近年では道路交通騒音などの制御用には非常に高さの高い遮音壁が用いられている。一般に遮音壁背後では、幾何学的に音源が直接見えない領域ではあたかも遮音壁エッジに仮想の音源があるような音場が構成されるので、その陰の音場の大きさを低減するために遮音壁エッジの仮想音源を吸音性円筒で被うことを思いついた。この吸音性円筒状エッジは平成7年7月7日の国道43号線訴訟に国側が敗訴して以来、その騒音制御手段として一般に認知され、幅広く利用されるようになった。断面形状も現在ではいろいろ考えられており、円形だけでなく、マッシュルーム型（**写真右**）と呼ばれるものや断面が左右非対称のものも現れているようである。それらが実際の高速道路沿道に設置されたものは、全国すべてを合計すると現在300km以上に達すると推計されている。

昨年、イタリヤはローマを訪れた際、高速道路沿線に同一原理の新型遮音壁エッジが延々と設置されているのを見て、国際的にも認知されていることを知った。



実用化された新型遮音壁エッジ

（左：ソフトップ、
右：ノイズリデューサー）

ソフトな円筒状エッジを持つ遮音壁

吸音性円筒状エッジを理論的に考察する際に気づいたのが、音響的に“ソフト”な境界条件である。この境界条件は理論的には“空気よりも音響的にはるかに柔らかい材料（？）”を必要としており、建築材料で物を製作する立場からは想像できないような条件であるため、これまで余り取り上げられなかったものである。しかし、この境界の表面では音圧がゼロになるので、このような境界条件を持つ遮音壁は吸音性のものよりも大きな遮音性能を持つことが予測された。そこで始めたのがソフトな円筒状エッジを持つ遮音壁の開発である。結果として現在、“ソフトップ”の名称で呼ばれる新型遮音壁エッジが実用化されるに至った。

表面で音圧がゼロであることを条件とするソフトな境界を実現するには、音響管の共鳴を利用することができる。この場合、周波数選択性はあるものの、ある周波数帯域で表面音圧がごく小さくなる。すなわちその管が対象音波の1/4波長の長さを持つ音響管であれば、入射波と管内を伝搬し底面で反射してきた反射波が開口部で打ち消しあって音圧がゼロになるわけである。これを利用して疑似的にソフトな表面を持つ円筒状エッジを構成した。しかし、一般に騒音は周波数上で広帯域なものであり、1種類の音響管のみでは制御できない。そこで5種類の深さを持つ音響管を半円状に並べることを試みた（**写真左**）。これを遮音壁のエッジに取りつけ、遮音壁背後での音圧レベルを計測したところ、従来の吸音性円筒のものよりも大きな減衰量が得られた。現在この形状が実用化され、実験室実験と屋外実験でも数値計算結果と良く一致することが確かめられている。また九州の国道沿いに実際に活用されている。

＊

ほかにも、別の研究機関でいくつかの新型遮音壁エッジが研究されている。より多くの研究がなされ、競争の中からよりよいものが誕生することを期待している。

●研究室のひととき

研究室にはD9人、M5人、B3人、ほかに研究生が2人おり、約20名の面倒を見ています。九州大学との統合や独法化などの研究以外での仕事が多く、学生と一緒に思う存分“遊ぶ”ことができず、残念と思う最近です。

連絡先
福岡市南区塩原4-9-1　九州芸術工科大学芸術工学部音響設計学科
Tel & Fax : 092-553-4552
e-mail: fujiwara@kyushu-id.ac.jp
http://www.kyushu-id.ac.jp/~fujiwara/



藤原恭司教授

●研究スタッフ

藤原恭司／1946年生まれ
- 研究テーマ／建築・都市における音響環境設計に関する研究
- 著書／共著「音響設計学入門」、ほか
- 研究内容としては、新型遮音壁研究のほか、高層住宅用交通騒音低減システム研究、ソフトな境界を持つダクトによる騒音低減研究、低周波数用吸音構造研究、などを行っている。

体験がなにより大事
（失敗したり、怖い目にあって成長）



出版委員会委員長
上原　正行
（神戸大学非常勤講師
京都女子大学非常勤講師）

1）身体でおぼえること

皆さん、ＮＨＫ・ＴＶの「課外授業」という番組を、ごぞんじでしょうか？今、活躍中の有名人が母校（小学校）を訪問し、通常１クラスの６年生を相手に、１週間程の短期間で、自分の得意技を伝えようとしているのです。「一芸に秀でた人は、やはりさすがだなあー」と、思わせる場面が次々登場する。芸能人、スポーツ選手から、大工棟梁にいたるまで、まことに真摯な姿が映される。最初不安げな子供の表情が、訓練を重ね、成果発表し、晴れ晴れしていく。最後は授業を受けた生徒全員が、涙して先生を見送ったり…。小生、ＴＶを見て、すがすがしいおもいに浸ることも再三。恐らく準備は大変だったろう。が、生徒にとっては実にいい体験と思う。

招かれたその道の達人も、出身校への思い入れは、さぞ大きいことと察する。そして20から30以上も年の違う大先輩に、生徒の熱い視線が注がれる。両方が、「教えよう」―「学ぼう」との意気込み、短期間の集中力はすごい。私も小学生時代に、画面に筆を入れてもらって絵がいきいきしてきた時、俳句、作文の添削に納得した時、朗読の発声、口の開け方を指導された時、それぞれほんの一瞬だけれども、恩師の表情までよく覚えている。お互いの気持がぴたっと一致して、受ける側に完全にプリントされ、一生忘れない記憶となる。自転車を乗りこなした瞬間、鉄棒の逆上がりができた時、クロールのコツを覚えた日、いずれも新鮮そのもの。その感激は、からだが覚えこんでいる。擦り傷負ったり、手に豆を作ったり、海水をのんで溺れそうになったり…、その結果ができた時の感動が湧き上がる。―「理屈じゃない、からだが覚える達成感」―大げさに言えばここに「教育の真髄」があると確信している。

2）日常、身近な視点

ところで、40年近い会社人生で教育問題に関わる事も多かった。そうなると先輩、同僚、後輩のことにふれなければならない。なかでも「被教育」となると、上司のファクターが大きい。小生、定年まで直属上司は15名を数えるが、感化を受ける度合いは、お付き合いの年限とは関係なさそうだ。そして入社後10年までの若い時期が被教育にふさわしいと思う。「鉄はまさに熱いうちに打て」である。

優しくて、怒りをぶつけてこない上司とは「間」をおいていたようで、私の場合、「よくしかる」先輩に、教育されたようだ。現在、小生には３人の子供と４人の孫がいる。彼等に注意を与え、しかる事の難しさを知っている。しかる方がずいぶんエネルギーがいるのである。したがって、上司も自分に自信が無ければ、「よう、おこらん」と、ただただ優しいだけということもあったろう。あるいは、しかる値打ちが無かったのかも…。過去、社内で、灰皿を投げる作業所長、横っ面を張り飛ばす主任、設計部でも取っ組み合いの喧嘩、図面を破る担当、赤鉛筆で原図を朱に染める部長などなど、目の当たりにしてきた。皆真剣そのものの結果だったと思える。ところがここ10年以上そのような話しは聞かない。かわりにセクハラ対策の研修が行われ、診療所わきに心理療法の先生が出張されたりしている。

当り障りの無い処世術が蔓延すると、その会社のエネルギーもなくなりそうに思える。今の時代、暴力まがいは許されるはずも無いが、言葉での注意も無くなりつつあるのはのいかがなものか！

以下の口伝は、元上司山中孔さんからのものである。

> ２度同じ失敗を繰り返すな！

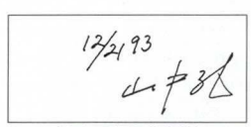
この教訓は、肝に銘じている。口の中がからからになるほどの失敗を２度やってしまった。しかも同じ建築主相手にふた月の間にである。一つは店舗、もう一つは独身寮で、斜線制限にひっかっかった。それぞれ全面道路がバチになっていたこと、道路と敷地の高低差が微妙にあったこと。１度は現地を見ているのだが、きちんとした実測図をもらわないでスケッチをすすめた。後で確認する手はずであったが忙しさにかまけて素通り。近隣交渉でのおくれもあり確認許可を特急でおろさねばならない。申請書を出してから間違いが発覚。パラペットが部分的に最高で300ｍｍほどオーバー。急遽の設計変更、パラペット全部を折り曲げ、材料、色彩の変更を部内了承してもらい、先方の施設部長には平謝りで何とかご了解をいただいた。受領実測図の再確認を怠り進めたためであったが、とにもかくにも当方の手落ち。これ以降、測量図には随分気をつかってきた。

> 分一（ぶいち）寸法を大事にしないといけない！

私の入社前、山中さんは岡山県庁舎で前川事務所、神戸三宮新聞会館ビルで村野事務所の仕事に従事しておられた。「おい上原君、事務所の図面は正確やな。村野先生とこの縮尺1/200の図面は、200倍したら実物や。階段の段数も、窓寸法もきっちりしとる。」と一般図の表現を細かく指導され、検図には竹尺を薄くしたものさしの携行が必須となる。（今ではＳＵＳのものさしがあるが…。）工場屋根の三晃式長尺鉄板瓦棒の働き寸法「418」をおぼえたのもこのころだった。

> 数字の入らぬレポートは文学。
> メモ情報には誰から何時受け取ったかメモせよ！

プレゼンテーションのための必須条件として数字記入を厳命。他にストーリー、スケジュールを示せ！とも言われ、何時も、厳しかった。記録に日付をいれることの重要さは、その後ＩＳＯ認証取得に向けて、さきがけになっていたと確信。「記す事は、身を守る事」の教えであった。



（山中　大先輩直筆）

3）世界の建築家Ａさんのこと

当出版委員会山田顧問からのお話し。少し古い話しとの事だが、山田先生が高名なＡさんに、学生のため、講演を依頼されたときのこと。彼曰く。「山田先生、あんた学生をなぐったことあるか？」「あります！」「解った。学生を殴った事も無いような先生の頼みやったら聞かへん。」……と言うやりとりがあったそうで、今もって交友を続けておられるとのこと。真剣勝負のＡさん、まちがった施工をされた工事業者を追い掛け回して手も出たという。やはり正しい仕事を身体で覚えて欲しいと言う事だったのだろう。

耐水型浮き床用緩衝材

鐘淵化学工業株式会社 建材事業部
〒530-8288 大阪市北区中之島3-2-4（朝日新聞ビル）
TEL:06-6226-5301 FAX:06-6226-5311

湿式浮き床工法は、RC造建築物の床衝撃音や固体音防止対策として広く採用されている。その緩衝材としては、防振性能、防音性能、耐荷重性能の良い繊維系緩衝材が最も一般的に使用されている。しかし、繊維系緩衝材が浸水した場合は床衝撃音低減性能の低下や床面の沈下がおこる可能性がある。浸水させないように施工するためにポリエチレンシート等による防水方法も施工時に損傷して浸水する危険性が高く、施工は容易でなかった。鐘淵化学工業㈱はこれらの欠点を補うために高弾性ポリスチレンフォーム（高発泡化したポリスチレンフォームを特殊加工し、動的バネ定数を低下させた緩衝材）に、特殊形状の防振ゴムを組み合わせた新しい耐水型緩衝材「PSブロック」を開発した。（共同開発㈱竹中工務店、特許機器㈱）

PSブロックの仕様

図1に示すように、PSブロックの構成は、高弾性ポリスチレンフォームと、変位に追随して接地面積が変化する断面形状をもつ防振ゴムを組み込んだパネルであり、これを敷き並べて湿式浮床を施工する。このPSブロックと、繊維系緩衝材（グラスウール96K）の動的バネ定数を比較したものが表1である。**表1**より耐水型緩衝材は、繊維系緩衝材と同等の動的バネ特性を有していることがわかる。

振動低減性能

PSブロックを用いた湿式浮き床（浮き床コンクリート厚150mm）の振動低減性能を図2に示す。**図2**より60Hz以上の帯域で概ね20dB以上の振動低減効果があることがわかる。また、水中で10日間浸水させたものを用いた浸水後の試験体においても、乾燥状態との差はほとんど無く、性能が維持されていることが確認できた。

現場での床衝撃音レベル低減性能

音楽ホール、体育館等の複合用途建築である「奈良市西部会館」（**図3参照**）において、音楽ホール～会議室間相互の遮音対策に採用されており、構造スラブt=200mmの上にPSブロックt=50mmと押えコンクリートt=100mm、下階の天井は吊防振の遮音天井とした。施工前後に測定した床衝撃音レベルとその低減量を**表2**に示す。軽量床衝撃音レベルは浮床施工前に裸スラブ時がL-71に対して浮き床施工後はL-29、床衝撃音の低減量はL数で42であった。また、重量床衝撃音レベルは浮床施工前の裸スラブ時がL-48、浮床施工後はL-43となり、床衝撃音レベル低減性能は、L数で5であった。

まとめ

耐水型緩衝材「PSブロック」を用いた湿式浮き床工法の実験室における振動低減性能、現場での床衝撃音レベル低減性能を報告した。PSブロックを用いることで、繊維系緩衝材と同等の床衝撃音レベル低減量を持ちつつ、浸水の状況下でも防振性能を維持することが可能となることが確認できた。（森川 務／建材委員）

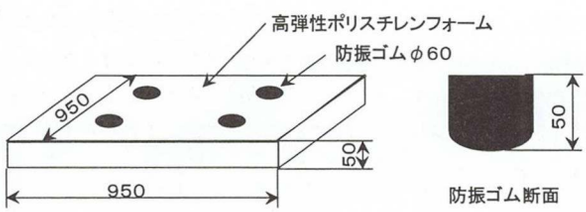


図1 耐水型緩衝材（PSブロック）構成

表1 緩衝材（厚さ50mm）の動的バネ定数

項目	耐水型緩衝材			繊維系緩衝材
固有振動数（HZ）	荷重250 kg/㎡時	荷重 375 kg/㎡時	荷重 800 kg/㎡時	荷重375 kg/㎡時
	22	18	13	18
動的バネ定数（N/㎡）	4.8×10^6	4.9×10^6	4.9×10^6	4.9×10^6

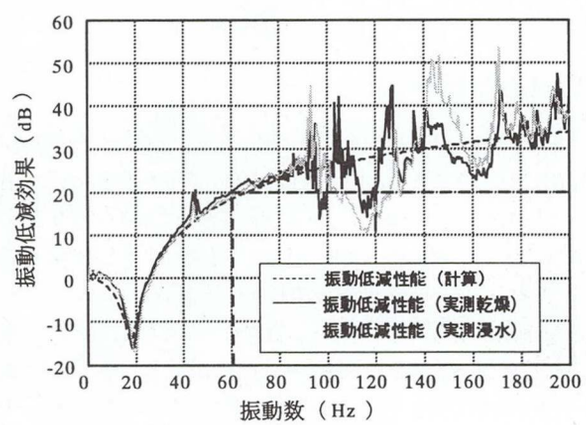


図2 緩衝材の振動数と振動低減効果（dB）の関係

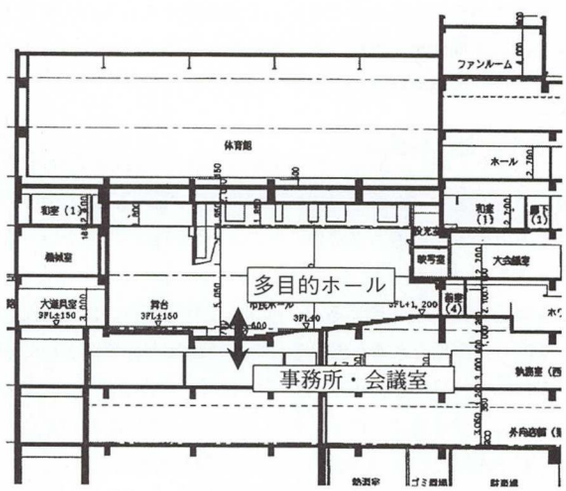


図3 建物断面図

表2 ホール～2階事務所・会議室間の床衝撃音レベル

（軽量床衝撃音）

測定項目	L数	床衝撃音レベル（dB）					
		125Hz	250Hz	500Hz	1kHz	2kHz	4kHz
浮床施工前	71	56	61	65	64	67	65
浮床施工後	29	41	35	29	24	22	19
床衝撃音低減量	42	15	27	36	39	44	46

（重量床衝撃音）

測定項目	L数	床衝撃音レベル（dB）					
		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1kHz	2kHz
浮床施工前	48	71	52	−	−	−	−
浮床施工後	43	66	43	28	22	20	−
床衝撃音低減量	5	5	9	−	−	−	−

水都再生建築展—AQUATECTURE IN AQUAPOLIS

水都大阪の「絵／ヴィジョン」

米津　正臣
竹中工務店設計部

水都再生建築展とTEAM OSAKA

2002年9月24日～9月30日までの間、北浜のワークルームにてTEAM OSAKAによる「水都再生建築展－AQUATECTURE in AQUAPOLIS－」が開催されました。この展覧会は、大阪市立大学大学院助教授の橋爪伸也氏の呼び掛けで、都市再生の視点からの議論が盛んな大阪で水都再生の具体的な可能性を示してみよう、そしてこのような展覧会を通して若い建築家が積極的に情報を発信する場をつくっていこう、という主旨で企画されました。参加者は、2001年JCD賞（社団法人日本商環境設計家協会主催）を受賞した関西在住のメンバーを中心に、船場元気コンペや邑楽町役場のコンペに入選したメンバー等が集まり、最終的には20～30代の若手建築家8チームで「TEAM OSAKA」を構成することになりました。展覧会期間中は、連日予想をはるかに越える沢山の人々が訪れ、朝日放送やＮＨＫ等のメディアにも注目されるなど、思いの他大きな反響もありました。そして9月27日の公開プレゼンテーションには、狭い会場に100人近くの学生や建築関係の方々が集まりました。

街を考えるツールとしての建築の「絵／ヴィジョン」

TEAM OSAKAがこの展覧会を準備するにあたって、都市再生なり水都再生なりの「言葉」に対して、一体どれだけの具体的な「絵」が描けているのかという問題意識がありました。様々な人々が、様々なレベルで「水都大阪」を認識し、議論を重ねているものの、ではその来たるべき「水都」が一体どのような姿をしていて、それがどのような地平を切り開くものなのかといった具体的な「絵」になると、その多くが煙に巻かれたようにぼんやりとしか見えてきません。明快な「絵」を描くことは、その主張とは裏腹に思わぬ欠点や失態を露にしてしまうからなのか、また、建設業がビジネスであり請負業であるという事実から、いつの間にか自分達の都市や環境に対する眼差しが近視眼的になってしまっているためなのか、その理由は色々と考えられると思いますが、いずれにせよ、楽しげな商業パースや歯の浮いた台詞ではなく、もっとリアルに都市を考えるツールとして建築の発想があり、建築の「絵／ヴィジョン」があったはずです。そのような中で、今回TEAM OSAKAのメンバーが、それぞれの所属を超えて、水都大阪の具体的な「絵」を描き、沢山の人々に見てもらい考えてもらうことは、私達が現状の社会を認識し発展させていく上でも大きな力になれるのではないかと考えました。また、このような試みは「建築」を通して社会や環境のことを考えている私達の重要な役割でもあるようにも思いました。

TEAM OSAKAによる水都大阪

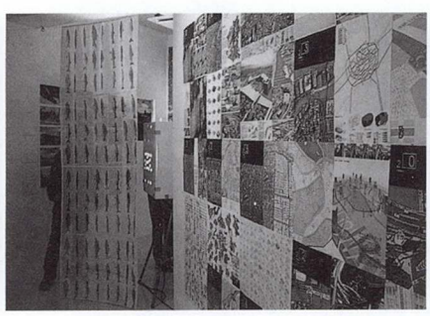
期間中、それぞれが持ち寄った大阪の「絵／ヴィジョン」は多様でした。様々な事象を分析的に捉え、既成の枠組みを丁寧に相対化しながら新たな未来を描いた「POWER　PLANNING」、大阪はたくさんの島からできていたという仮説の元に、都市を切断という手法によって再編成する「ISLANDIZATION—切断とネットワーク—」。現状の町並みの中に、観察の力により新たな視点を獲得する「水辺不動産」や「para-void」、また、川の輸送量の変異に着眼した「cirquantilation」、個人的な思いや触覚を通して都市を貫く身体を見つめなおす「道路川橋」など、様々な提案は、そのまま設計者の建築や都市に対するスタンスでもあったようです。中でも、「POWER PLANNING」などは、私達が知らぬ間に属している社会的なルールや慣習を解きほぐすことに設計行為の重心を置くことで、多様な建築空間を都市の中に出現させています。どれもが独創的な建築であるのですが、それらは、諸条件に対する誠実な解答であり、その誠実さゆえに、特殊解として現れているような代物です。展覧会の一環として行われた、船越幹央氏（大阪歴史博物館 学芸員）と橋爪紳也氏による講演「水都の風景」を聴いていて、実は、このような特殊な条件に対する素直で真面目な解答の集積として、個性的で力強い大阪の街が成立していたのではないかと思いました。

今回の展覧会を通して、見る人によっては共感できない提案も、恐ろしく乱暴にみえるものもあったかもしれません。法規との関係を気にされる方もいたかもしれません。しかし展覧会という表現の場において、私達は怖がらず様々な可能性を検証してみることが重要だと議論していました。そして「大阪が本当にこんな街だったら素敵ですね」と言ってくれた人がいたように、このような具体的な提案と議論の蓄積が、新たな大阪の方向性を築いていく一助になれば、それは一つの建築の「絵／ビジョン」がもつ力なのかもしれないと思いました。　（よねづ　まさおみ）

TEAM OSAKAメンバーと出展作品
「POWER PLANNING」伊藤立平・香川貴範／SPACE-SPACE-SPACE
「都市 情報 記憶　para-void」金　澤富・今井　美樹／IAT
「道路川橋」 高橋俊介／一級建築士事務所基本フォルム
「cirquantilation」田所克庸／田所克庸建築研究所
「大阪－都市のうねり」土佐 道子／ののデザイン
「水辺で暮らそう」中谷 昇／株式会社アートアンドクラフト代表
「ISLANDIZATION－切断とネットワーク－」 qp／竹中工務店
（アートディレクション：林　洋介・北村卓也／14sd ）



展示風景


展示風景

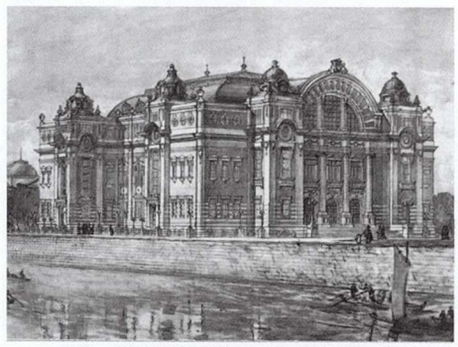

公開プレゼンテーション（提供　日刊建設工業新聞社）

村野藤吾建築設計図展

■展覧会・第4回村野藤吾建築設計図展
テーマ　「村野藤吾の初期作品をめぐって―再生と継承のデザインを考える―」
会　期　2002年12月2日(月)～12月14日(土)
10：00～16：00　会期中無休
会　場　京都工芸繊維大学・美術工芸資料館
京都市左京区松ケ崎　地下鉄松ケ崎駅下車
入　場　無料。図録は会場にて販売。
■シンポジウム―申し込み不要・入場無料―
パネラ　長谷川堯（建築評論家）、竹原義二（第9回村野藤吾賞受賞者・大阪市立大学教授）、石田潤一郎（京都工芸繊維大学大学院教授）
司　会　西村征一郎（京都工芸繊維大学教授）
日　時　2002年12月7日(土) 14：00～17：00
場　所　京都工芸繊維大学1号館1階51号講義室
定　員　150名（当日先着順）
問い合わせは、京都工芸繊維大学造形工学科「村野藤吾の設計研究会」事務局（笠原一人）へ。FAX 075-724-7250、e-mail：kasahara@ipc.kit.ac.jp

「大大阪時代の建築」―大阪歴史博物館―

第一次世界大戦後、大阪は急激に人口が増え、社会施設・都市基盤の整備を行い「大大阪」と呼ばれるようになった。中之島には公会堂、図書館、市庁舎が建ち並び、大阪は「水の都」とも呼ばれてきた。この時期、大阪では御堂筋をはじめとする道路拡幅を行い、美観形成をはかっている。
大阪歴史博物館では、大大阪時代の建築に焦点を当て、建築図面や写真、スケッチなど約60点を展示し、それを設計した建築家の横顔を紹介する。
11月1日(金)に大阪市中央公会堂が保存再生工事を終えリニューアルオープンしたが、明治45年の設計コンペに参加した13人の建築家の案も展示される。
会　期　2002年10月23日(水)～12月16日(月)
9：30～17：00　火曜日休館
会　場　大阪歴史博物館8階特集展示室（常設展示場）
大阪市中央区大手前4-1-32
TEL 06-6946-5728
観覧料　大人600円、高大生400円、中学生以下・大阪市在住65歳以上・障害者手帳を持つ人無料


明治45年の設計競技で一等当選の岡田信一郎案

「関西宇宙工場の挑戦～モノづくりに始まる技術と夢～」展

いま、東大阪を中心とする関西の中小企業グループが独自の人工衛星を開発、打ち上げようとしている。人工衛星打ち上げを目指す関西企業の技術や製品を紹介するとともに、本展では宇宙ステーション、有人宇宙飛行の世界、太陽の観測データなど、宇宙開発の最前線を模型や映像、実物を交えながら紹介。入場無料。
会　期　2002年11月22日(金)～12月1日(日)
10：00～18：00　会期中無休
会　場　ATC・ITM棟10階　大阪デザイン振興プラザ
大阪市住之江区南港北2-1-10
■記念シンポジウム―定員200人（要予約）―
日　時　2002年11月22日(金) 15：00～
会　場　ATC・ITM棟12階　ITMホール
参加費　一般1,000円、学生500円
講　師　東　久雄（大阪府立大学教授）
的川泰宣（宇宙科学研究所教授）ほか
申込先　大阪デザイン振興プラザ
TEL 06-6615-5510

ART BOX NAGOYA 2002

竹中工務店設計部員が、30cm立方の中に『環境の創造』を追求してきたその13年の成果を礎に、今年は「Change & Challenge―ここから変わる・ここまで変わる」の姿勢を展示会に吹き込む。
主催は竹中工務店名古屋支店設計部。
日　時　2002年12月3日(火)～7日(土)
10：00～19：00（最終日16：00）
場　所　名古屋ATビル・地下1階　―入場無料―
名古屋市中区錦1-18-22
テーマ　『挑』―いどむ―自己改革への新たな試み―進化する気持ちを創造性につなげる
内　容　（A）ART BOX――30cm立方にこめる「ものづくり」の想い
（B）MASS ART――設計部員130人の集合作品「紙コップ」による造形

環境共生シンポジウムを大阪で

日　時　2002年12月12日(木) 9：30～16：50
会　場　建設交流館8階・グリーンホール
大阪市西区立売堀2-1-2
定　員　150人（先着順）
受講料　5,000円（消費税含む）
申込先　環境共生住宅推進協議会事務局（〒102-0084 東京都千代田区二番町4-5　(財)建築環境・省エネルギー機構内）、FAX 03-3222-6696。受講料振込方法の問い合わせも上記へ。
●プログラム
住宅に係る環境政策の動き／坂本努（国交省住宅局）
基礎講座・地域に広がる環境共生住宅の輪／中林由行（綜建築研究所代表取締役）
ケーススタディ・環境に配慮した住まいと暮らし～環境共生への改修～／濱恵介（大阪ガスエネルギー・文化研究所研究主幹）
パネルディスカッション・再生・改修をキーワードに既存住宅における環境共生を考える／濱恵介＋菅家克子（ARCネットワーキング菅家設計室）、コーディネータ：岩村和夫（武蔵工業大学教授）

会員短信

山地さん、町びらき40周年の千里開発の原点をたどる

日本建築協会会員の山地英雄さんは大阪府在職中、千里丘陵の開発から千里ニュータウンの完成までおよそ10年にわたって町づくりにかかわってきた。そして、昭和43年ごろからは新千里北町の一角に住まう。
この千里ニュータウンも今年11月2日で40周年を迎えた。開発事業を知る人も少なくなり、千里ニュータウンでの生活を体感した人も世代交代している今、手元に多くの当時の資料を持つ山地さんは、千里開発の原点を手繰り寄せ1冊の本にまとめたいと思い立ったという。
大阪府時代、当時の吹田市都市開発部長・大石さんと1カ月にわたり欧米視察旅行に出かけて集めた資料・経験を織り込み、『新しき故郷―千里ニュータウンの40年―』は手堅く事業計画の話を展開し、また、人類が夢みた「ユートピア」にまで話は及ぶ。たとえばプラトンの考えた「アトランティス大陸」や、陶淵明の「桃源郷」……。
なお、山地さんは20年前、千里ニュータウン20周年の折には『新しきふるさと―千里ニュータウンの20年―』を刊行している。



体裁：B6判
297頁
定価：1,800円＋税
発行所：NGS
(TEL 06-6308-3281)

日本建築協会

月間の動き

【平成14年 9 月分】

理事会

第３回常任理事会
９月25日（水）15:00～17:00
出席者　金多会長ほか９名
議　題　（１）平成14年度収支予算執行状況
（２）各常設委員会事業の報告
（３）会勢の増強について
（４）その他

編集委員会

第６回編集委員会
９月11日（水）18:00～20:10
出席者　設楽委員長ほか５名
議　事　（1）10月号「時を超えて～サステナブルエンジニアリングの現在～」特集経過報告
（2）11月号「私の空間作法ー会員作品」特集経過報告
（3）12月号「第49回青年技術者」特集・「大阪市中央公会堂の保存再生」特集報告
（4）平成15年１月号～６月号「建築の眼」新執筆者検討
（5）第３回読者と選ぶ「建築と社会賞」について
（6）収支状況報告
第６回設備分科会
９月３日（火）18:00～20:00
出席者　河井幹事ほか９名
議　事　（1）「研究最前線」の企画
（2）「設備の頁」の企画
（3）来年の設備特集の件
第６回法令分科会
９月４日（水）14:00～15:45
出席者　薄木幹事ほか３名
議　事　「法令コーナー」の企画
第１回計画分科会ー計画系ー
９月５日（木）19:00～21:15
出席者　鈴木幹事ほか４名
議　事　来年４月号計画特集の企画
第７回構造分科会
９月６日（金）18:00～19:00
出席者　田渕幹事ほか４名
議　事　（1）10月号「時を超えて」特集の報告
（2）「構造の頁」の確認
第６回広告企画小委員会
９月18日（水）16:00～17:30
出席者　渡邉副委員長ほか７名
議　事　（1）10月号「時を超えて～サステナブルエンジニアリングの現在～」特集経過報告
（2）11月号「私の空間作法ー会員作品」特集経過報告
（3）12月号「第49回青年技術者」特集・「大阪市中央公会堂の保存再生」特集報告
（4）１月号「東畑建築事務所創立70周年」特集報告
（5）２月号「九州」特集報告
（6）作品作風関係報告
（7）平成15年度独自特集企画
（8）収支状況報告
第６回作品作風小委員会
９月19日（木）19:00～21:30
出席者　倉渕副委員長ほか６名
議　事　（1）作品の選定
（2）作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
（3）「gallery」掲載報告・予定
（4）「Sketch Book欄」の掲載予定
（5）11月号特集について
第５回施工材料分科会
９月26日（木）17:00～18:30
出席者　太刀川委員ほか３名
議　事　特集企画
第２回計画分科会ーインテリア・住宅系ー
９月30日（月）19:00～20:30
出席者　高野幹事ほか２名
議　事　来年度特集案について

事業委員会

第４回事業委員会
９月17日（火）18:00～19:30
出席者　川村委員長ほか７名
議　事　（1）各小委員会からの報告と検討
（2）その他
①ＩＴ委員会からの報告（ホームページ開設の件）
②2002年度建築関係合同忘年懇親会の実行委員選任の件
第４回若い会員の集い小委員会
９月３日（火）19:00～20:40
出席者　石井幹事ほか３名
議　事　（1）実施報告
（2）「30' s EYE出版『建築する人たち―アーキテクト・アーティストの素顔』（仮題）」の進捗状況報告
（3）「アルヴァー・アールトの住宅・関西展」について
（4）「委員の時間」の今後の予定について
第４回情報小委員会
９月11日（水）18:00～19:30
出席者　天野副委員長ほか10名
議　事　今後の予定について
第４回見学会小委員会
９月12日（木）18:00～19:30
出席者　松浦副委員長ほか７名
議　事　実施報告と今後の予定について

出版委員会

第５回出版委員会
９月19日（木）18:00～19:00
出席者　上原委員長ほか７名
議　事　（1）＜プロのノウハウ＞と特装本の経過報告
（2）今後のテーマと執筆者選定
（3）その他
①委員の交代について
②ＩＴ委員会からの報告（ホームページ開設の件）
第５回「建築施工図の作図方法とチエックポイント（仮称）」出版小委員会
９月12日（木）18:00～19:30
出席者　田中主査ほか５名
議　事　（1）建築施工図の作図方法とチエックポイントに関して
（2）今後の作業予定について

建材委員会

第５回建材委員会
９月11日（水）16:00～17:00
出席者　和田委員長ほか３名
議　事　（1）今後の検討建材について
（2）秋季工場見学会について

建築クラブ

第363回建築クラブ朝食会
９月10日（火）８:00～９:30・於　大阪全日空ホテル
演　題　「これからの日本」
講　師　㈱大阪日日新聞社取締役社長　田村耕太郎氏
参加者　24名
第３回建築クラブ運営委員会
９月10日（火）９:45～10:05・於　大阪全日空ホテル
出席者　佐野代表ほか３名
議　題　（1）新年宴会について
（2）会員の増強について
（3）今後の『講演・講師』依頼について
（4）その他
①ビジター料金について

入会者(敬称略)

［個人会員］

有田　博（竹中工務店）	井上　雄二（竹中工務店）	今井　敬（竹中工務店）
竹田　陽介（竹中工務店）	川辺　武彦（ナニワ通信設備）	竹馬　聡（佐藤総合計画）
中塚　光一（大林組）	中村　安奈（高松建築設計事務所）	

◀会員の訃報
新井　辰一氏　　平成14年10月13日ご逝去

空調・衛生・クリーンルーム設備
（設計・施工）

朝日工業社

本社・本店　東京都港区浜松町1-25-7　電話03(3432)5711
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話06(6302)2270
支　　店　北海道/東北/北関東/横浜/名古屋/中国/九州

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社

大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03—3344—1851(大代)　大阪本社☎06—6448—3603(代)
大阪支社　☎06—6448—5851(代)　名古屋支店　☎052—211—1535(代)　中国支店　☎082—247—5541
九州支店　☎092—431—2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)6441-8231
東京本社　〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　　社　名古屋・福岡
支　　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

より快適な水環境をめざして
給排水衛生設備，冷暖房設備，消火設備の設計，施工

株式会社西原衛生工業所大阪本店

大阪本店　〒531-0071　大阪市北区中津六丁目8番4号
TEL 06-6458-3628（代表）
本　　社　〒108-0023　東京都港区芝浦三丁目6番18号
TEL 03-3452-7441（代）
支　　店　札幌・東北・新潟・東関東・横浜・名古屋・九州

空気調和設備　産業設備
給排水設備　水処理施設
電気設備　環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　宅　清光
常務取締役関西支店長　本木　満

関西支店　大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル　電話 06(6350)8100
本　　社　東京都千代田区有楽町1—4—1　電話 03(3502)6103
支　　店　北海道・東北・関東・千葉・横浜・北陸・名古屋・京都・神戸・四国・中国・九州

人と都市の快適な環境をつくります

営業種目　設計・施工・監理

●電気設備
受変電・幹線
動力・制御装置
電話、放送、インターホン
防犯、防災
中央監視制御
システム計装

●空調・給排水・衛生設備
空気調和
工場配管
水処理
コージェネレーション
クリーンルーム

●プラント
プラント計装
システムエンジニアリング

●情報通信設備
情報通信ネットワーク
情報処理
通信システム
放送システム

●電力流通設備
受変電
架空送配電
地中送配電

住友電設株式会社

大阪本社　〒550-0011 大阪市西区阿波座2-1-4 ☎(06)6537-3400
東京本社　〒105-0014 東京都港区芝2-2-17 ☎(03)3454-7311

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話(6352)1131(代)
本　　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2—22　電話(3667)3431(大代)
支　　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

CHOYO

人がいる多彩なフィールドで、
新しい限界に挑戦しています。

電気設備設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本貴士

本　　社　〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目2-4(朝日ビル)
TEL 06(6385)1361(代)　FAX 06(6385)1050

空気調和・衛生設備・設計施工

株式会社三晃空調

本　　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話06-6363-1671
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話03-3344-7911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話06-6363-1371
支　　店　仙台・横浜・名古屋・京都・神戸・広島・福岡

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

関　西　支　社

常務取締役支社長　高橋幸久

大阪市中央区高麗橋4丁目3番7号　電話大阪(6202)0325～9番
本　　社　東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支　　社　北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・北関東・中部・九州

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル1・2階)
〒542-0066 電話 大阪 (06) 6768—5031代表
メンテナンス　電話　大阪（06）6768—1651代表
東京支社　東京都文京区小石川1丁目12番14号(日本生命小石川ビル7階)
〒112-0002　電話 (03) 5689—2351代表

電気設備設計施工

株式会社三興社

代表取締役社長　上田正雄

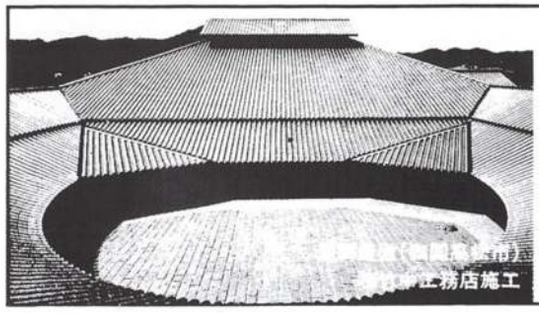
本　社　大阪市北区堂島浜1—4—19（日土地堂島ビル）
電　話　06（6442）3671（代）
支　店　東京都中央区日本橋茅場町2丁目17番3号
電　話　03（3666）1478（代）
営業所　堺・泉州・泉南・滋賀

OKUJU
スペース クリエイター
建築に革命をもたらした技術がある
「大規模天井無足場工法」
内外装創作パネル・システム天井・間仕切
株式会社 オクジュー
本社
大阪市北区西天満5丁目3番7号 〒530-0047
TEL(06)6312-4131 FAX(06)6312-7998
東京・九州・横浜・南九州・名古屋・上海

学校建築のトータルアドバイザー
二葉工業株式会社
黒板・掲示板・家具
電動黒板装置・サイン・スクリーン
〒547-0001 大阪市平野区加美北3—4—5
TEL06(6792)5858 FAX06(6792)2810

＊奉仕感謝の店
タイル及び規格石一式施工
株式会社 川岸窯業商店
本社 大阪市西区西本町1の13の33
TEL.06—6532—0641(代表)
FAX.06—6535—5181
天理営業所 天理市丹波市新町49

●情報処理●企画・制作●編集●画像処理●印刷・製本
人と技術をクリエイティヴで結びます
日本データネット株式会社
本社 〒530-0043 大阪市北区天満1-1-10 TEL.06-6352-7502 FAX.06-6355-2714
制作部 〒530-0043 大阪市北区天満1-9-19 TEL.06-6352-0943 FAX.06-6355-5533
印刷工場 〒530-0043 大阪市北区天満2-5-15 TEL./FAX.06-6352-1551


〒556-0024
ナニワ瓦株式会社
あらゆる屋根工事の相談は、
大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
☎ 六五六一～七四五四
ファックス 六五六一～七四一六

Digital Pri-Press
AOBA PRINTING CO.,LTD.
代表取締役社長 依藤孝行
青葉印刷株式会社
〒534-0027 大阪市都島区中野町2丁目10番11号
Phone.06-6351-5428 Fax.06-6351-5299

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA（膨張性混和材） コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材） 鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント） コンクリート躯体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材） 地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材） コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・綱野（07727）2－2220
舞鶴（0773）76－0133
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）6332－6861
TEL 東京（03）3272－8501
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）6443－6181
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）6252－6000
東郷化成株式会社
TEL 滋賀・守山（0775）83－2381
TEL 大阪（06）6877－1581

竹中のセンサ



セキュリティ・情報機器

- 検知器
- 受信制御機器
- 通報機器
- 警報器
- 報知器
- ローカル監視装置
- スイッチ
- タイマー
- 電源機器
- 万引報知機器
- 人感ライト、人感スイッチ、防犯ライト
- 無線機器
- 多重伝送機器
- 映像機器
- 出入管理機器
- 保管機器
- 防爆機器
- ディフェンス（防御・護身用）機器
- 金属探知器
- X線透視機器
- 暗視機器
- 煙幕防御機器
- 車両機器
- 特殊機器

竹中センサーグループ

TAKEX 竹中エンジニアリング株式会社

事業本部 〒607-8156 京都市山科区東野五条通外環西入83-1
TEL(075)594-7211(代) FAX(075)501-2085

札幌 (011)281-4641	仙台 (022)268-2411	郡山 (024)962-4310
所沢 (042)991-7255	さいたま (048)641-8830	千葉 (043)202-2551
東京 (03)5805-8081	立川 (042)540-1665	横浜 (045)411-0270
長野 (026)229-8130	静岡 (054)203-5220	名古屋 (052)731-7227
金沢 (076)234-7201	京都 (075)593-3171	大阪 (06)6881-2045
神戸 (078)230-6112	広島 (082)223-1138	高松 (087)861-6633
福岡 (092)471-6245	熊本 (096)387-3911	U.S. 408-747-0100
U.K. 01256-475555	GER. 06023-9625-0	AUS. 03-9546-0533

http://www.takex-eng.co.jp/

最新版!

※ 2002年版「総合カタログ」を無料で差し上げます。

雑誌 03379-11

社団法人 日本書籍出版協会 〒530-0057 大阪市北区曽根崎1-6-15 第3大阪ビル6F TEL(06)6365-5606 FAX(06)6365-5607 http://www.aabj.or.jp
定価1,200円（●本体1,143円●消費税57円●送料共）正会員の購読料は会費に含めて徴収